

# 太田市内遺跡 18

— 令和3年度調査 —

2023

群馬県太田市教育委員会

## はじめに

太田市は、関東平野の北部に位置し、利根川と渡良瀬川に挟まれた豊かな自然と文化や産業が調和したまちです。

市域の東部には東日本最大の前方後円墳である天神山古墳や、重要文化財に指定された形象埴輪が出土した塚廻り古墳群などの著名な古墳がつくられました。また、中央やや北には、東山道駅路や古代の役所である新田郡家が置かれ、中世には金山丘陵から西に新田荘が成立し栄えました。戦国期に築かれた金山城は難攻不落の名城と言われています。

本書は、令和3年度に実施した市内のさまざまな開発事業に伴う確認調査の結果をまとめた報告書です。今回は、民間開発等60件以上の調査を行いました。是非、本書を色々な場面でご活用いただければ幸いです。

私達は、先人の残した遺産を調査し、整理・保存・活用していくことが歴史解明の一助となり、文化の薫り高い豊かなまちづくりの推進をになうものと確信しております。

最後になりましたが、調査を実施するにあたりご指導・ご協力を賜りました関係各位、また寒暑の中、発掘調査に参加していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

令和5年3月

太田市教育委員会  
教育長 恩 田 由 之

## 例 言

- 1 本書は、太田市教育委員会が国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金と群馬県文化財保存事業費補助金を得て実施した「市内遺跡発掘調査」の概要をまとめた報告書である。
- 2 確認調査は、太田市教育委員会が令和3年度に実施し、整理作業は令和4年度に実施した。
- 3 本書は、「市内遺跡発掘調査」によって確認調査を実施した遺跡の調査地について調査概要を掲載している。
- 4 発掘調査の期間および組織体制は以下のとおりである。

令和3年度（なお、令和3年12月14日以降は市単独費用で確認調査を行った。）

調査主体者 太田市教育委員会 教育長 恩田由之  
調査担当者 太田市教育委員会 教育部 文化財課  
係長代理 長谷川幸男、遠坂純伸 主任 岩松大輔 主事 岩井直人

調査事務局 太田市教育委員会 教育部 部長 春山裕 副部長 大谷健、武井英伸  
文化財課 課長 島田孝雄 課長補佐 静野勝信 係長代理 清水陽子  
会計年度任用職員 長谷川理子、本間敏夫
- 5 整理作業の期間および組織体制は以下のとおりである。

令和4年度

事業主体者 太田市教育委員会 教育長 恩田由之  
事業担当者 太田市教育委員会 教育部 文化財課  
係長代理 長谷川幸男、遠坂純伸 主任 岩松大輔 主事 岩井直人

事業事務局 太田市教育委員会 教育部 部長 橘原明憲 副部長 長谷川晋一、関口義明  
文化財課 課長 静野勝信 係長 塚越悟 係長代理 清水陽子、坂庭アサ  
会計年度任用職員 長谷川理子、新井俊光
- 6 本稿の執筆・編集は長谷川幸男が担当した。
- 7 本書に掲載した遺構の写真は各調査担当者が撮影した。
- 8 本書に関わる資料ならびに遺物は太田市教育委員会で保管している。
- 9 発掘調査ならびに整理作業に携わった作業員は下記のとおりである。

遠坂優、大澤孝雄、加々美忠彦、鎌須賀伸彦、菊池祥裕、北爪勇次、平方敦、山銅隆夫、塩月隆夫、柴田弘信、野本由紀夫、橋本貞男、橋本直毅、長谷川健二、林一雄、丸谷了司、宮谷吉政、茂木進、山本眞夫、大坪春美、木村純子

## 凡 例

- 1 位置図等にベースマップとして都市計画図（太田市都市計画課 平成28年度作製）を使用した。
- 2 調査地点位置図の方位は上が北、トレンチ配置図の方位は図中表示した。
- 3 確認調査全体図あるいは出土遺物実測図のスケールは各図の下端などに表示した。

## 目 次

はじめに

例 言

凡 例

目 次

第1章 調査に至る経緯	1
第2章 調査の方法および経過	2
第3章 遺跡の位置と歴史的環境	2
第4章 調査の成果	6
第5章 まとめ	83

写真図版

報告書抄録

## 第1章 調査に至る経緯

令和3年度における各種開発事業の公共事業については、前年度（令和2年度）に開発部局に対し事業照会を行い、公共工事計画の情報入手に努めた。一方、民間開発については、事前問い合わせ窓口を開設し、その都度埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行った。

試掘・確認調査は、文化財等保存・活用事業費国庫補助金や群馬県文化財保存事業費補助金を受けて「市内遺跡発掘調査」として事前調査を実施し、開発事業との調整を図ることとした。また、開発範囲が狭小で通常の確認調査の実行が不可能な場合、開発工事の途中で遺構の有無や掘削深度など確認する工事立会を実施した。

なお、試掘・確認調査の結果、遺構が確認され現状保存が困難な場合、記録保存のための本調査を実施した。



第1図 太田市全図

## 第2章 調査の方法および経過

太田市における各種開発事業に伴う埋蔵文化財取り扱いの調整については、次のような方法で実施した。まず、事業照会や事前問い合わせにより開発計画の情報を得て、その開発予定地が埋蔵文化財包蔵地内であるかどうか太田市埋蔵文化財包蔵地図をもとに判断をした。包蔵地内にある場合、事業者に「埋蔵文化財発掘の届出・通知」の提出を要請し、その開発内容により「慎重工事」・「工事立会」・「確認調査」の指導をした。

確認調査の場合は、「確認調査依頼書兼発掘承諾書」の受理後、日程の調整をして、申請人あるいは申請代理人の立会のもと調査を実施した。調査時には、対象となる土地の地形や形状または開発内容を考慮した上で調査区を設定し、遺構確認面まで掘削機等で掘り下げた。遺構の有無、遺構の内容は、人力による精査で把握した。記録は平面図・断面図等を作成するほか、35ミリカラーネガフィルムおよびデジタルカメラにて写真撮影を行った。確認調査後は埋め戻しを行い、沈下を防ぐため充分に転圧をして現場を引き渡した。

調査後の整理作業については、これらの調査によって出土した遺物の洗浄・注記・接合・実測や、図面の修正・トレース・編集などを行い、翌年度に報告書『市内遺跡発掘調査』の刊行を行うこととしている。

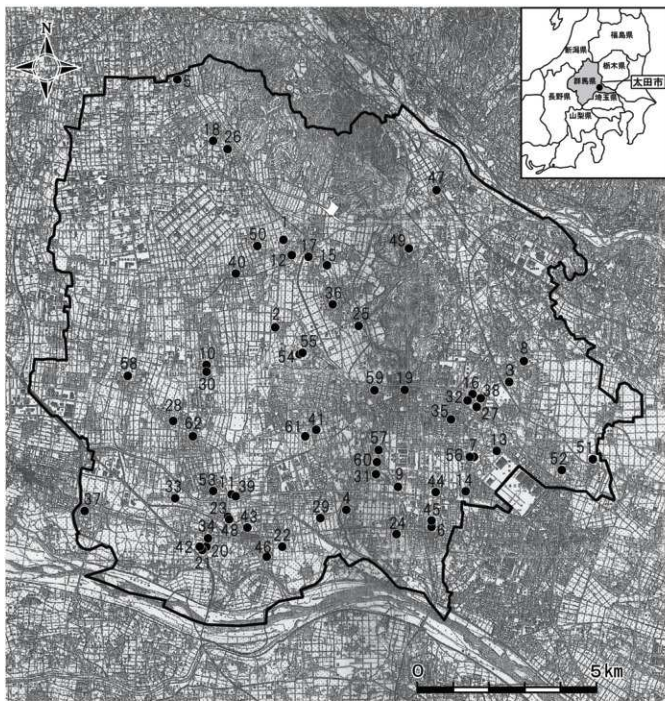
当市の令和3年度における事前問い合わせ件数は公共・民間あわせ合計2,652件であった。そのうち、包蔵地内で開発行為が計画され、埋蔵文化財発掘の届出・通知が提出されたのは合計757件であった。確認調査総数は62件で、そのうち「市内遺跡発掘調査」として国および県費補助金を得て実施した試掘・確認調査件数は合計46件であった。なお、残り16件については市単独費用で調査を実施した。「市内遺跡発掘調査」における開発目的の内訳は、公共事業では区画整理道路4件、防火水槽1件、圃場整備1件、商業用地造成1件であった。一方、民間開発では個人住宅4件、建売住宅10件、集合・共同住宅9件、店舗5件、太陽光発電施設4件、宅地分譲・造成8件、福祉施設4件、事務所3件、作業所1件、資材置場1件、体育館1件、駐車場3件、工場1件、組合による区画整理道路等1件であった。

## 第3章 遺跡の位置と歴史的環境

太田市は、北東部を渡良瀬川、南部を利根川に接し、また、北部中央に八王子丘陵、市域中央に金山丘陵が広がっている。八王子・金山丘陵東側の毛里田、董川、休泊地域には渡良瀬川扇状地が広がり、旧河道地形や沖積低地が発達し複雑な地形をしている。一方八王子丘陵西側の藪塚地域以南には大間々扇状地が広がり、扇状地の端部付近に位置する新田地域からは湧水が流れ出し、古代より生活の源水として利用されている。市中央部の金山丘陵周辺には広大な平地が広がり、洪積台地や沖積低地が形成されている。利根川に面する市南西部の尾島地域は、旧利根川の流路にあたる部分であり、榛名二ツ岳の噴火による噴出物の洪水堆積層によって遺跡が覆われている。

令和3年4月1日現在で太田市全体としては、965遺跡が確認されており、これらを主な時代ごとに多い順に列挙すると、古墳時代が最も多く、ついで奈良・平安時代、中世、縄文時代、近世、弥生時代、旧石器時代となっている。

令和3年度「市内遺跡発掘調査」として実施した調査地の概要について、次ページの地図及び一覧表にまとめた。



- 1 天良七堂遺跡 2 堂原遺跡 3 大日山古墳群、下小林館跡(大倉城)、雷遺跡 4 富沢古墳群 5 中原上遺跡  
 6 東矢島古墳群 7・56 飯塚古墳群 8 新堀遺跡 9 八反田遺跡 10・30 反町城館跡、要害遺跡  
 11・39 長福寺遺跡 12 天良七堂遺跡、寺井古墳群 13 房塚遺跡 14 東別所西原遺跡 15 鳥山寺中遺跡  
 16・32 天神山古墳 17 推定東山道駅路下新田ルート 18 三島遺跡 19 浜町遺跡  
 20・21・34・42・43 FP泥流下遺跡群 22・46 東部地区遺跡群 23 西田島遺跡 24 高林鶴巻古墳群  
 25 三枚橋南古墳群 26 西野西遺跡 27 目塚遺跡 28 一町田・堀之内遺跡 29 石田川遺跡 31 家前遺跡  
 33 長慶塚古墳 35 小舞木遺跡 36 鳥ヶ谷戸遺跡 37 新田館跡 38 女体山古墳東方遺跡  
 40 入谷遺跡 41 清川遺跡 44 宮西遺跡 45 新ヶ谷戸遺跡 47 流作場遺跡 48 下田島遺跡  
 49 古米糸里制水田跡 50 堀廻遺跡 51 龍舞深町遺跡 52 石神遺跡 53 延享割遺跡 54・55 下原遺跡  
 57 推定東山道駅路(武蔵路) 58 北宿遺跡 59 舞台A・D遺跡 60 道灌谷戸遺跡 61 由良天王遺跡  
 62 大通寺後遺跡

第2図 令和3年度調査地位置図

表1 令和3年度 市内遺跡発掘調査 調査地一覧表(補助金対象)

No.	受付 No.	ID	所在地	遺跡名	開発原因	開発 面積 (㎡)	調査 面積 (㎡)	調査期間	調査結果	備考	
1	35	28455	天良町124-1	天良七堂遺跡	個人住宅	410	16	4月16日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし
2	58	28492	福屋町1118-2、-3	変原遺跡	露天駐車場建設	1,221	31	4月20日	遺構 遺物	溝1条、土坑3基、ピット1基 古墳時代の土器片、近世の土器片、 磁器片、瓦片	本調査なし
3	91	28568	下小林町1118-2、-6、 -7、-8、119-2、132-4、 697-1、-4、-5、-7、702、 703-1、-2、704-1、705、 712、713	大目山古墳群、下小林館跡(大 倉庫)、雷遺跡	住宅展示場造成	11,497	232	4月19 ~22日	遺構 遺物	古墳6基、溝4条、土坑3基、ピッ ト5基 縄文時代、古墳時代、中世の土器 片、古墳時代の埴輪片	本調査なし
4	59	28493	富沢町408	富沢古墳群	集合住宅	723	22	4月26日	遺構 遺物	古墳周壕1条、溝1条 古墳時代の埴輪片	本調査対象後 発見中止
5	117	28610	飯塚町2011-1	中原上遺跡	店舗	4,400 (内 1,000)	27	4月27日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし
6	163	28689	南矢島町604-4、-15、-16、 -17、605-3、-4、-5、-19、 -24、-25、-26、-27、-28(仮 地100㎡(仮))	東矢島古墳群	工場	1,671	65	5月6 ~7日	遺構 遺物	なし 古墳時代の埴輪片	本調査なし
7	144	28662	飯塚町915-5、916-1の一部	飯塚古墳群	集合住宅	874	28	5月18日	遺構 遺物	なし 縄文時代、時期不明の土器片	本調査なし
8	234	28820	台之郷町822-1、-2	新築遺跡	建売分譲	1,175	47	5月24日	遺構 遺物	古墳の周壕1条、土坑1基、ピット 2基 古墳時代の埴輪片、中世の土器 片、近世の土器片	本調査なし
9	208	28773	下田町197-4、200、202- 1、-2	八反田遺跡	建売分譲	999	72	5月24 ~25日	遺構 遺物	溝3条、土坑4基、ピット4基 古墳時代、中世の土器片	本調査なし
10	38	28462	新田反町556-5、560-2	反町城跡跡、要害遺跡	個人住宅	200	9	5月28日	遺構 遺物	溝2条、土坑3基、ピット1基 古墳時代不明の土器片、鉄製品	本調査なし
11	127	28625	下田町 地内(宝泉南部 土地区画整理内 区画道路 6-49段)	長福寺遺跡	区画整理	210	22	6月9日	遺構 遺物	土坑2基、ピット2基	本調査なし
12	207	28771	寺井町701-5、699-4	天良七堂遺跡、寺井古墳群	店舗	211	20		遺構 遺物	竪穴建物跡3軒、溝1条、土坑1基 縄文、奈良・平安時代の土器片	本調査なし
13	412	29127	内ヶ島町240-1	塚原遺跡	事務所	999	15	7月6日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし
14	57	28491	東別所町349-27、350-1の 一部、-4	東別所西原遺跡	建売分譲	1,454	160	7月6 ~6日	遺構 遺物	竪穴建物跡6軒、溝1条、土坑6 基、ピット13基 古墳時代の土器片	R3年度に本 調査を実施
15	318	28972	島山上町1232-1、-2、-3、 -4、-5、1236	島山中古墳群、推定東山道駅 跡(牛車一先ノ原ノート)	宅地分譲	5,236	219	7月17 ~16日	遺構 遺物	竪穴建物跡20軒、溝3条、土坑43 基、ピット18基 古墳時代の埴輪片、奈良・平安時代 の土器片	R3年度に本 調査を実施
16	218	28787	内ヶ島町1624-1	天神山古墳	建売住宅	488	41	7月12日	遺構 遺物	土坑1基 なし	本調査なし
17	203	28759	島山上町2268、2343-1及び 2369-1、2343-2の各一 部	推定東山道駅跡(新田ルート)	集合住宅	999	49	7月15日	遺構 遺物	竪穴建物跡1軒、溝1条、土坑3基 古墳、奈良・平安時代の土器片及 び埴輪片	本調査なし
18	421	29140	飯塚町2919、2920-1、-2 地内	三島遺跡	防大貯水槽設置工事	26	5	7月20日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし
19	126	28624	本町 地内(太田駅前辺土 地区画整理地内 高架北4 号地・区画道路6-34号線)	飯町遺跡	区画整理	300	40	7月19 ~21日	遺構 遺物	井戸1基、溝2条、土坑3基 古墳時代の土器片及び近 世の土器片	本調査なし
20	252	28847	亀岡町674-2	FP 肥後下遺跡群	宅地分譲	1,078	53	8月5日	遺構 遺物	土坑1基 なし	本調査なし
21	359	29037	亀岡町676-1	FP 肥後下遺跡群	建売住宅	1,226	65	8月6日	遺構 遺物	土坑2基、ピット2基 なし	本調査なし
22	531	29356	岩松町 地内	東部地区遺跡群	区画整理	1,816	132	8月24 ~26日	遺構 遺物	溝3条、土坑12基、ピット10基 古墳時代の埴輪片、奈良時代~近 世の土器片、陶器片、石製品	本調査なし
23	128	28626	下田町 地内(宝泉南部 土地区画整理地内 区画道 路6-21(9号地))	西田島遺跡	区画整理	350	26	8月31日	遺構 遺物	溝1条、土坑5基 古墳跡、縄文中期の土器片	本調査なし
24	539	29377	高林町町311-3、812-2、 -5	高林鶴巻古墳群	福祉施設	2,902	136	9月6 ~8日	遺構 遺物	溝1基、土坑5基、ピット5基 古墳時代の埴輪片、土器片	R3年度に本 調査を実施
25	405	29113	島山町553-1	三枚橋南古墳群	福祉施設	1,057	48	9月7日	遺構 遺物	溝1条 なし	本調査なし
26	339	29009	飯塚町2952-3 地内	西野西遺跡	建売分譲住宅	1,949	70	9月15日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし
27	251	28845	内ヶ島町1490-3、-14、1491	日原遺跡	店舗	1,760	76	9月15 ~16日	遺構 遺物	溝5条、土坑4基 中世の土器片、時期不明の土器片	本調査なし
28	75	28529	新田赤塚町368-2	一町目・堀之内遺跡	太陽光発電	975	42	9月21日	遺構 遺物	溝3条、土坑4基、ピット1基 縄文時代及び時期不明の土器片	本調査なし
29	622	29547	米沢町212-1	石田川遺跡	太陽光発電	1,108	51	9月27 ~28日	遺構 遺物	溝3条、土坑4基、ピット1基 古墳時代の土器片、埴輪片及び時 期不明の土器片	本調査なし
30	680	29652	新田反町551-2、-3、 552-1、-2、-5、-6、 554-1	反町城跡跡・要害遺跡	作業場	2,578	76	10月5 ~6日	遺構 遺物	井戸1基、溝3条、土坑1基、ピッ ト2基 古墳時代の土器片、平安時代の 須恵器片、土器片	本調査なし
31	283	28905	岩瀬川町91	家前遺跡	集合住宅	1,264	16	10月6日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし



No.	受付 No.	ID	所在地	道 路 名	開発原因	開発 面積 (㎡)	調査 面積 (㎡)	調査期間	調 査 結 果	備 考	
32	413	29128	内ヶ島町1618-1	天神山古墳	個人住宅		171	8/10月11日	遺構 遺物	土坑1基 埴輪片	本調査なし
33	759	29776	新田下江田町200-1	長盛塚古墳	宅地造成	1,228	68	10月14 ～15日	遺構 遺物	溝2条,土坑9基,ビット3基 古墳時代～中・近世の土器片	本調査なし
34	48	28480	安養寺町34-1,-2,36-1, -4,-11	FP 配流下道跡群	事務所,倉庫	3,259	58	10月14 ～15日	遺構 遺物	土坑2基,ビット2基 平安時代の土器片,須恵器片	本調査なし
35	501	29298	小舞木町554,555-1の一部	小舞木道跡	集合住宅	622	44	10月18 ～19日	遺構 遺物	溝1条,ビット2基 古墳時代の土器片	本調査なし
36	517	29333	島山下町853-1,島山中町 848-4	島ヶ谷戸道跡	宅地造成	1,646	94	10月20 ～21日	遺構 遺物	竪穴建物跡1軒,溝3条,土坑3基 古墳時代,奈良・平安時代の土器片	本調査なし
37	264	28669	世良田町863-21,-22,866- 13,867-1,-4	新田道跡	駐車場,資材置場	1,526	67	11月1 ～2日	遺構 遺物	井戸2基,溝13条,土坑24基,ビッ ト7基 中世の土器片	本調査なし
38	458	29209	内ヶ島町1385-2,-9,-10	女体山古墳東方道跡	店舗	1,789	49	11月8日	遺構 遺物	竪穴建物跡2軒,溝1条 古墳時代,古墳時代の土器片	本調査なし
39	771	29793	下田島町1116,1117-1(仮 地:16-1街区25,26)	長福寺道跡	建売住宅	2,229	12	11月15日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし
40	567	29427	新田小金井町1317番7,9	入谷道跡	福祉施設	1,632	150	11月24 ～26日	遺構 遺物	溝2条,土坑5基,ビット11基 遺物	本調査なし
41	361	29039	由良町688,689	横川道跡	資材置場	1,007	102	11月29 ～30日	遺構 遺物	溝7条,土坑6基 奈良・平安時代及び中世の土器片	本調査なし
42	605	29499	亀岡町552-1	FP 配流下道跡群	建売住宅	1,503	92	12月2 ～3日	遺構 遺物	溝1条,土坑4基 平安時代の土器片	本調査なし
43	603	29497	尾島町274-1の一部	FP 配流下道跡群	建売住宅	977	76	12月2日	遺構 遺物	竪穴建物跡2軒,溝1条,土坑10 基 古墳時代～平安時代の土器片	本調査なし
44	626	29533	東京島町1112-4,1114-1, 1115-1,1116,甲1117の1 -1	宮西道跡	集合住宅	1,784	110	12月6 ～7日	遺構 遺物	竪穴建物跡2軒,土坑23基,ビッ ト4基 古墳時代～平安時代の土器片	R3年度に本 調査を実施
45	601	29492	赤矢島町670-2,679-1,- 4,-5,-6,-7,220-3,- 4,-8,221-12,-25	新ヶ谷戸道跡	集合住宅,事務所	1,116	27	12月9日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし
46	827	29901	堀口町159-1,-2,-3,- 4,-5,-6,-7,220-3,- 4,-8,221-12,-25	東部地区道跡群	集合住宅	1,063	39	12月14日	遺構 遺物	竪穴建物跡1軒,溝1条,土坑10 基,ビット1基 縄文,平安時代の土器片	本調査なし

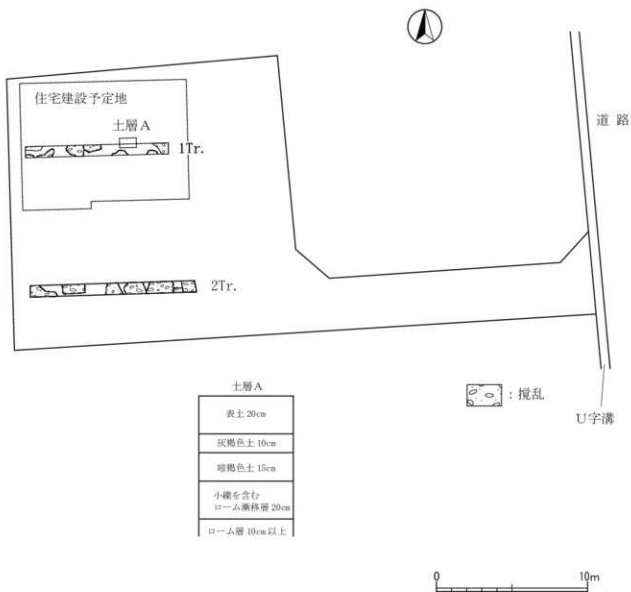
表2 令和3年度 市内道跡発掘調査 調査地一覧表(補助金対象外)

No.	受付 No.	ID	所在地	道 路 名	開発原因	開発 面積 (㎡)	調査 面積 (㎡)	調査期間	調 査 結 果	備 考	
47	764	29784	丸山町の一部(丸山町1266 地)内	流作堀道跡	商業施設造成	48,000	81	12月14日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし
48	1073	30362	下田島町地内(宝泉南地区土 地区画整理地内 区画道路12- 2号線,宝泉南地区2号線)	下田島道跡	区画整理 (道路)	2,820	54	12月22 ～23日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし
49	1076	30365	緑町 地内	古米奈良製水田跡	圃場整備	1,175	172	12月20 ～27日, 3月2日	遺構 遺物	なし 平安時代,時期不明の土器片	本調査なし
50	776	29798	新田小金井町1664-4,-5	堀廻道跡	個人住宅	378	11	1月20日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし
51	639	29572	龍舞町589-3	龍舞深町道跡	事務所	4,978	12	1月26日	遺構 遺物	時期不明の溝2条,土坑2基,ビッ ト1基 遺物	本調査なし
52	1146	30498	龍舞町805-1 地内	石神道跡	宅地分譲	1,813	90	1月27 ～28日	遺構 遺物	溝1条 遺物	本調査なし
53	362	29643	泉町1449-5,1450-1,-7	延享割道跡	体育館	958	19	2月1日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし
54	717	29709	稲屋町121-1	下原道跡	太陽光発電	973	52	2月8日	遺構 遺物	溝2条,土坑10基,ビット1基 遺物	本調査なし
55	612	29516	新野町852-3,稲屋町119- 3	下原道跡	福祉施設	985	28	2月9日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし
56	1210	30611	飯塚町915-1,916-2	飯塚古墳群	集合住宅	978	30	2月14日	遺構 遺物	古墳の周壁1条,竪穴建物跡1軒, 土坑2基 古墳時代の土器片,埴輪片	本調査なし
57	728	29728	下田島町1006-1,-2 地 内	樺定山道(武蔵路)	宅地造成	1,175	55	2月15日	遺構 遺物	井戸1基,溝4条,土坑2基,ビッ ト4基 古墳時代,奈良時代,中世の土器片	本調査なし
58	1132	30477	新田上江田町689-1,690, 1037-1	北宿道跡	太陽光発電	3,394	132	2月24 ～25日	遺構 遺物	竪穴建物跡4軒,溝3条,土坑14 基,ビット18基 近世の陶器片,時期不明の土器片	本調査なし
59	1201	30593	西本町43-3,-4,-5,-10, -11	舞台A・D道跡	駐車場	893	3	3月23日	遺構 遺物	竪穴建物跡2軒 時期不明の土器片	本調査なし
60	1100	30404	下田島町729 地内,731-1	蓮華谷戸道跡	建売分譲	1,039	43	3月24日	遺構 遺物	溝1条,ビット4基 遺物	本調査なし
61	780	29813	由良町1801 地内	由良天王道跡	建売分譲	998	37	3月28日	遺構 遺物	土坑5基,ビット2基 遺物	本調査なし
62	1105	30416	新田木崎町1308-4	大通寺後道跡	宅地造成	948	29	3月28日	遺構 遺物	なし なし	本調査なし

## 第4章 調査の成果

### 1 天良七堂遺跡 (R3-No.35)

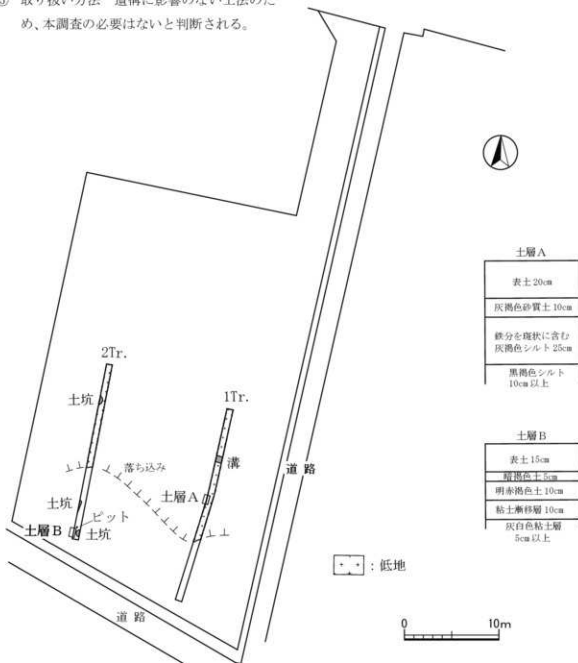
- ① 所在地 太田市天良町 124-1
- ② 調査原因 個人住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第3図 確認調査平面図・断面図

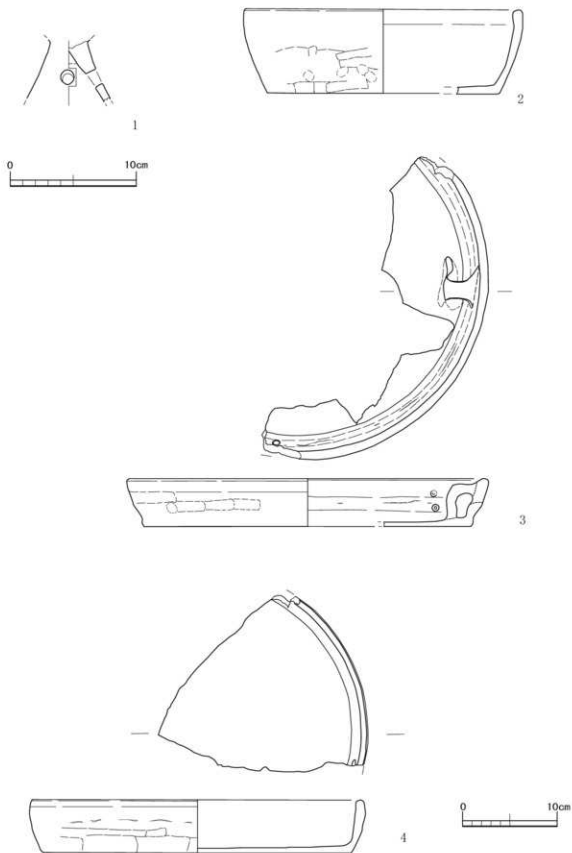
## 2 堂原遺跡 (R3-No.58)

- ① 所在地 太田市脇屋町 1118-2、-3
- ② 調査原因 露天駐車場建設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 1条、土坑 3基、ピット 1基が確認され、古墳時代の土器片、近世の土器片、磁器片、瓦片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



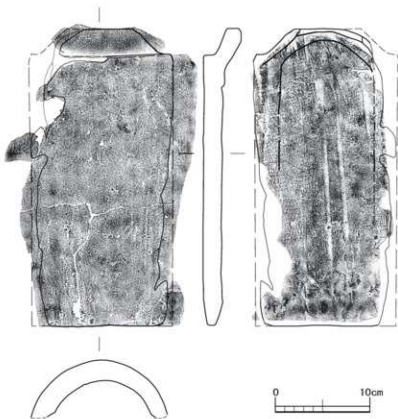
第4図 確認調査平面図・断面図

出土遺物 (2Tr.)



第5図 出土遺物実測図

出土遺物 (2Tr.)



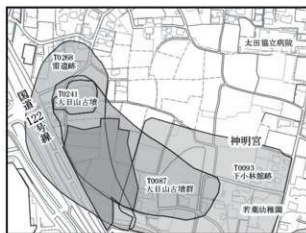
5

番号	器種	寸法 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③粘土 ④残存	成・整形技術の特徴	備考
1	土師器 高坏か	口径: - 底径: (24.4) 器高: -	①良好 ②にふい黄緑 ・石莖・角閃石・白色粒・黒色 粒・褐色粒 ③脚部破片	外面 磨耗激しく調整不明瞭。脚部中に3ヶ所の凹 孔。 内面 脚部ナデ。	器台の可能 性あり
2	軟質陶器 鉢	口径: (28.8) 底径: (24.4) 器高: 8.9	①いぶし焼成 ②灰褐 ③角閃 石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④破片	外面 口縁部～体部上半ヨコナデ。体部下半ヘラケズ リ。部分的に指頭圧痕あり。体部下半～底部ちられ状。 内面 口縁部～体部ヨコナデ。	
3	軟質陶器 燈絡	口径: (38.4) 底径: (34.8) 器高: 5.1	①いぶし焼成 ②褐灰 ③チャ ーリ・角閃石・白色粒・黒色粒・褐 色粒 ④1/3残存	外面 口縁部ヨコナデ。体部上半ヘラケズリ、部分的に 指頭圧痕あり。体部下半～底部ちられ状。 内面 口縁部～体部ヨコナデ。体部に2か所、穿孔を施 す。上段は焼成後、下段は焼成前にそれぞれ内面から穿 孔。	
4	軟質陶器 燈絡	口径: (34.6) 底径: (30.8) 器高: 5.6	①いぶし焼成 ②褐灰 ③チャ ーリ・角閃石・白色粒・黒色粒 ④ 1/4残存	外面 口縁部～体部上半ヨコナデ。体部下半ヘラケズ リ。底部ちられ状。 内面 口縁部～体部ヨコナデ。	
5	瓦 丸瓦	長さ: 31.4 幅: - 厚さ: 2.0	①還元焼 ②褐灰 ③石莖・白色 粒・黒色粒 ④一部欠損	有段式丸瓦。 凸面 ヘラケズリ後、ナデ調整。 凹面 布目。部分的にヘラナデ。	

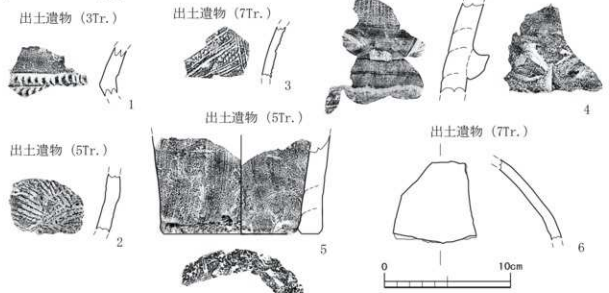
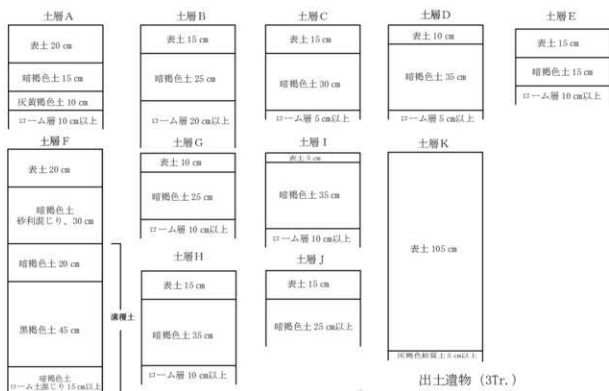
第6図 出土遺物実測図

### 3 大日山古墳群、下小林館跡(大倉城)、 雷遺跡 (R3-No.91)

- ① 所在地 下小林町 118-2、-6、-7、-8、119-2、122-4、697-1、-4、-5、-7、702、703-1、-2、704-1、705、712、713
- ② 調査原因 住宅展示場造成
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に、トレンチ 11 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 古墳 6 基、溝 4 条、土坑 4 基、ピット 4 基が確認され、縄文時代・古墳時代・中世の土器片、古墳時代の埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため本調査の必要はないと判断される。



第7図 確認調査平面図

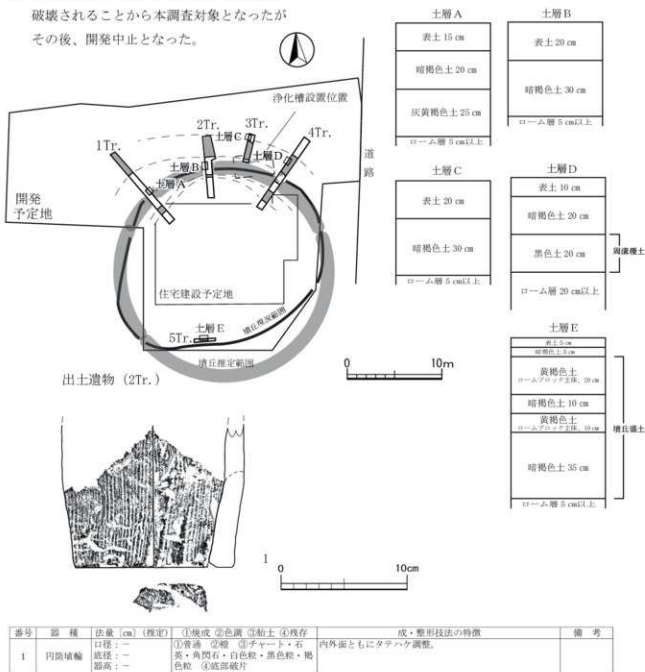


番号	器種	法量 (cm) (推定)	①地成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	縄文土器 深鉢	口径:— 底径:— 器高:—	①普通 ②明褐色 ③チャート・石英・長石・白色粒・黒色粒 ④破片	頸部に半截竹管による連続爪形文を施す。	縄文前期中葉
2	縄文土器 深鉢	口径:— 底径:— 器高:—	①普通 ②明赤褐色 ③繊維・チャート・石英・白色粒・黒色粒 ④破片	無筋のR縄文・L縄文を交互に施し、羽状縄文をなす。	縄文前期中葉
3	縄文土器 深鉢	口径:— 底径:— 器高:—	①普通 ②明褐色 ③チャート・白色粒・黒色粒 ④破片	L Rの縄文施文後、半截竹管による斜位の沈線を施す。	縄文前期後半
4	円筒埴輪	口径:— 底径:— 器高:—	①普通 ②明赤褐色 ③チャート・石英・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④破片	外面タテハゲ調整後、断面台形の突帯貼り付け、内面ナデ調整。	
5	円筒埴輪	口径:— 底径:(12.2) 器高:—	①普通 ②にぶい黄褐色 ③チャート・石英・長石・白色粒・黒色粒 ④底部破片	外面タテハゲ調整、内面ナデ調整。	
6	焼締陶器 鏝	口径:— 底径:— 器高:—	①硬質 ②褐色 ③白色粒・黒色粒 ④破片	内外面ともに濃緑色の自然釉付着。	常滑

第8図 断面図・出土物実測図

#### 4 富沢古墳群 (R3-No.59)

- ① 所在地 太田市富沢町 408
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に、トレンチ 5 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 古墳 1 基 (古墳周堀 1 条)、溝 1 条が確認され、古墳時代の埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 長屋建設工事により遺構が破壊されることから本調査対象となったがその後、開発中止となった。

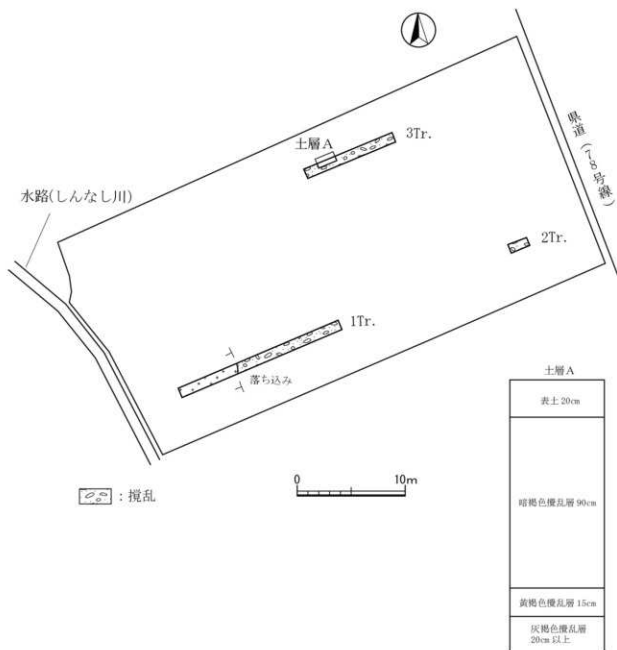


第9図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図



## 5 中原上遺跡 (R3-No.117)

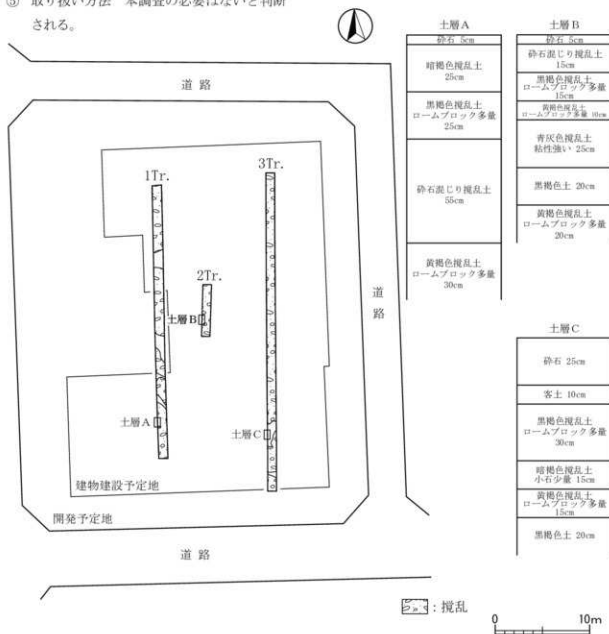
- ① 所在地 太田市藪塚町 2011-1
- ② 調査原因 店舗
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に、トレンチ 3 本を設定し地表より遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第10図 確認調査平面図・断面図

## 6 東矢島古墳群 (R3-No.163)

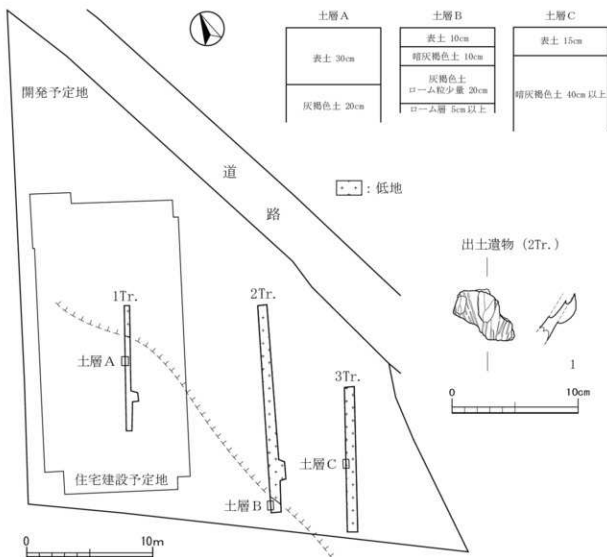
- ① 所在地 太田市南矢島町 604-4、-15、-16、-17、605-3、-4、-5、-19、-24、-25、-26、-27、-28 (仮換地 100 街区①)
- ② 調査原因 工場
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に、トレンチ 3 本を設定し地表より遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構は確認されなかった。遺物は、古墳時代の埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第11図 確認調査平面図・断面図

## 7 飯塚古墳群 (R3-No.144)

- ① 所在地 太田市飯塚町 915-5、916-1 の一部
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に、トレンチ 3 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構は確認されなかった。遺物は、縄文時代及び時期不明の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。

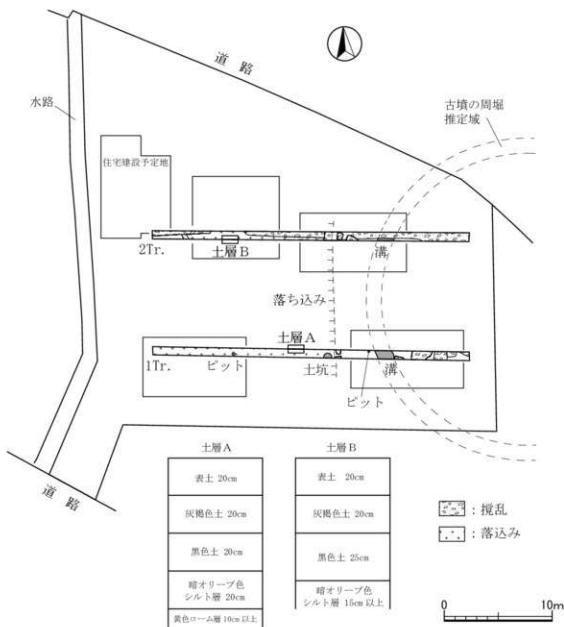


番号	器種	法量 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	縄文土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: -	①普通 ②にぶい・黄褐色 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④破片	半截竹管により斜位の平行沈線を施した後、棒状の粘土粒を貼り付け。	縄文前期後半

第12図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

## 8 新堀遺跡 (R3-No.234)

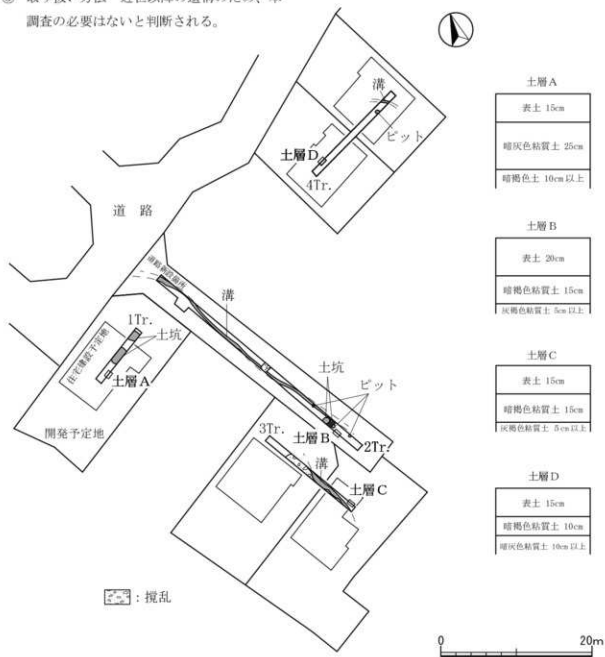
- ① 所在地 太田市台之郷町 822-1、-2
- ② 調査原因 建売分譲
- ③ 調査方法 開発予定地を対象に、トレンチ 2 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 古墳の周堀 1 条、土坑 1 基、ピット 2 基が確認され、古墳時代の埴輪片、中世の土器片、近世の磁器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第13図 確認調査平面図・断面図

## 9 八反田遺跡 (R3-No.208)

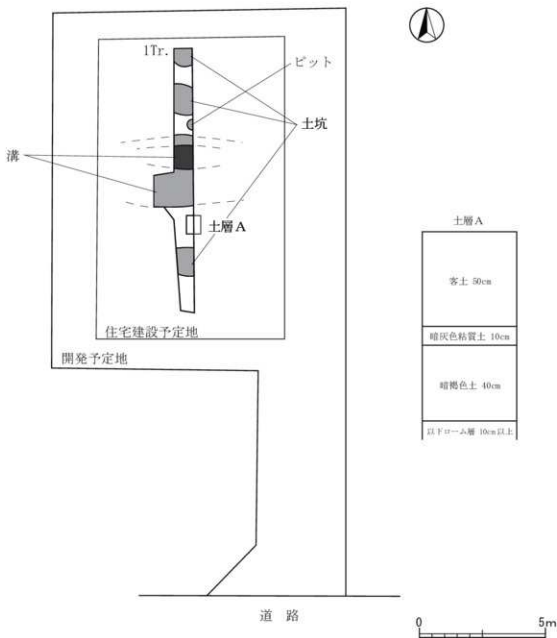
- ① 所在地 太田市下浜町197-4、200、202-1、202-2
- ② 調査原因 建売分譲
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ4本を設定し、遺構確認面を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝3条、土坑4基、ピット4基が確認され、古墳時代・中世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構のため、本調査の必要はないと判断される。



第14図 確認調査平面図・断面図

## 10 反町城館跡・要害遺跡 (R3-No.38)

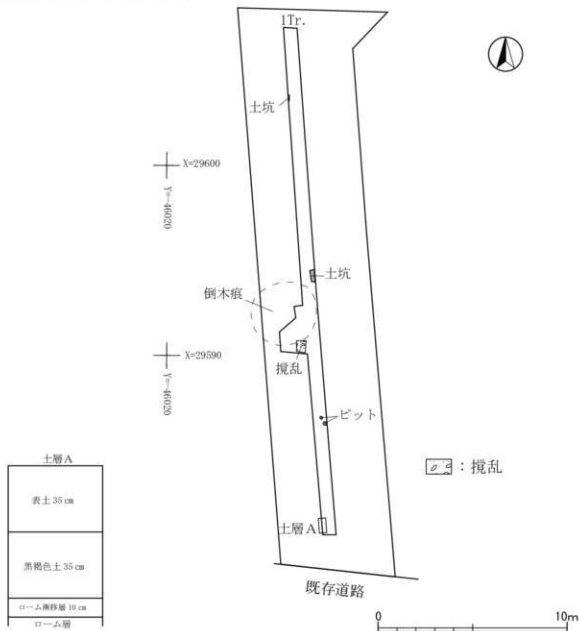
- ① 所在地 太田市新田反町町 556-5、560-2
- ② 調査原因 個人住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 1 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 2 条、土坑 3 基、ピット 1 基が確認され、時期不明の土器片・鉄製品が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第15図 確認調査平面図・断面図

## 11 長福寺遺跡 (R3-No.127)

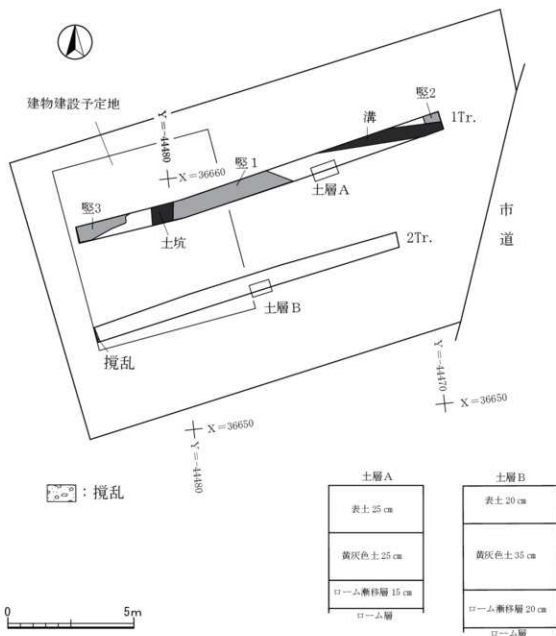
- ① 所在地 太田市下田島町 地内 (宝泉南部土地区画整理地内 区画道路 6・49 号線)
- ② 調査原因 区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 1 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑 2 基、ビット 2 基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構のため、本調査の必要はないと判断される。



第16図 確認調査平面図・断面図

## 12 天良七堂遺跡、寺井古墳群 (R3-No.207)

- ① 所在地 太田市寺井町 699-4、701-5
- ② 調査原因 店舗
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡 3 軒、溝 1 条、土坑 1 基が確認され、縄文・奈良・平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

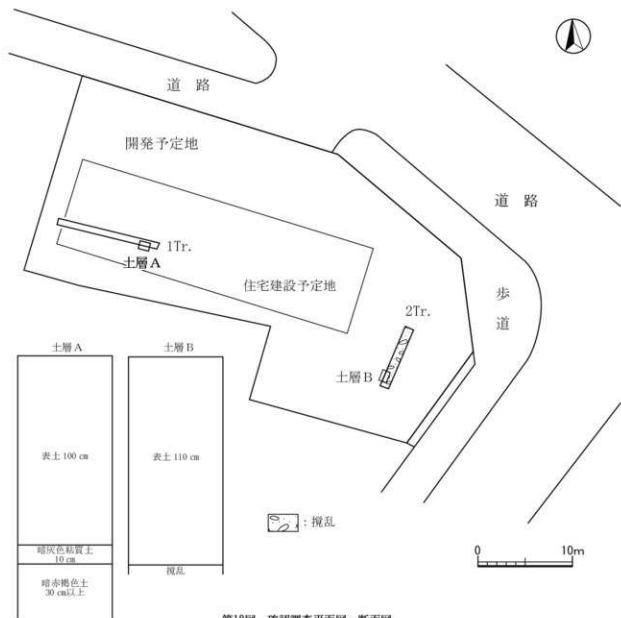


第17図 確認調査平面図・断面図



### 13 房塚遺跡 (R3-No.412)

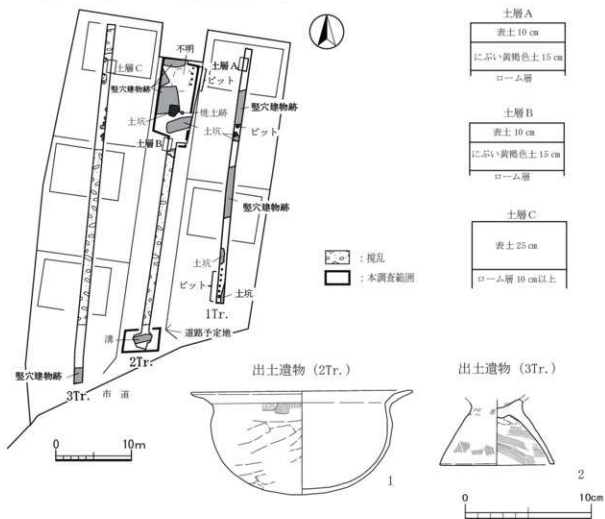
- ① 所在地 内ヶ島町 240-1
- ② 調査原因 事務所
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第18図 確認調査平面図・断面図

#### 14 東別所西原遺跡 (R3-No.57)

- ① 所在地 太田市東別所町 349-27、350-1 の一部、-4
- ② 調査原因 建売分譲
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 3 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡 6 軒、溝 1 条、土坑 6 基、ピット 13 基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 道路築造予定箇所ので遺構が壊される部分について本調査を実施した。

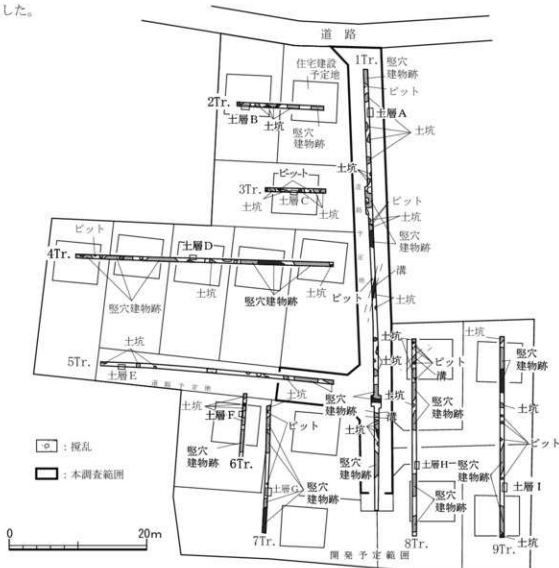


番号	器種	法量 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③粘土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器鉢	口径: (17.6) 底径: — 器高: 9.2	①普通 ②にぶい黄褐色 ③チャード・石英・白色粒・黒色粒 ④1/3残存	外面 口縁部～頸部タテハケ後、ヨコナダ。胴部～底部ヘラケズリ。 内面 口縁部ヨコナダ。胴部～底部摩擦激しく調整不明瞭。	
2	土師器台付甕	口径: — 底径: (9.0) 器高: —	①普通 ②黒赤褐色 ③チャード・角閃石・白色粒・黒色粒 ④右部破片	外面 台部ナメハケ。台部上端に炭化物付着。 内面 底部ハケ調整後ナダ。右部ナメハケ及びヨコハケ。	

第19図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

15 鳥山寺中遺跡、推定東山道駅跡・  
矢ノ原ルート (R3-No.318)

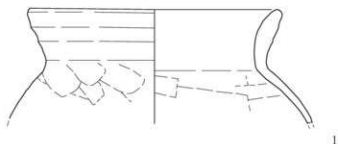
- ① 所在地 太田市鳥山上町 1232-1、-2、-3、  
-4、-5、1236
- ② 調査原因 宅地分譲
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 9  
本を設定しローム層を基準に掘り下げて  
遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡 26 軒、土坑 43 基、  
溝 3 条、ピット 18 基が確認され、古墳時代の  
埴輪片、奈良・平安時代の土器片が出土  
した。
- ⑤ 取り扱い方法 道路新築予定地について  
は遺構が壊されることから、本調査を実施  
した。



第20図 確認調査平面図

<p>土層A</p> <p>表土 30 cm</p> <p>暗褐色土 15 cm</p> <p>ローム層 10 cm以上</p>	<p>土層B</p> <p>表土 10 cm</p> <p>暗褐色土 20 cm</p> <p>ローム混じり暗褐色土 10 cm以上</p>	<p>土層C</p> <p>表土 10 cm</p> <p>暗褐色土 15 cm</p> <p>ローム混じり暗褐色土 15 cm以上</p>	<p>土層D</p> <p>表土 30 cm</p> <p>暗褐色土</p> <p>ロームフロンツ中層 30 cm</p> <p>ローム混じり暗褐色土 15 cm以上</p>	<p>土層E</p> <p>表土 15 cm</p> <p>暗褐色土 20 cm</p> <p>ローム混じり暗褐色土 10 cm以上</p>
<p>土層F</p> <p>表土 10 cm</p> <p>暗褐色土 10 cm</p> <p>ローム層 10 cm以上</p>	<p>土層G</p> <p>表土 20 cm</p> <p>暗褐色土 10 cm</p> <p>ローム混じり暗褐色土 10 cm以上</p>	<p>土層H</p> <p>表土 20 cm</p> <p>暗褐色土 15 cm</p> <p>ローム混じり暗褐色土 15 cm以上</p>	<p>土層I</p> <p>耕土 25 cm</p> <p>暗褐色土 15 cm</p> <p>ローム混じり暗褐色土 10 cm以上</p>	

出土遺物 (1Tr.)



1

出土遺物 (4Tr.)



2

出土遺物 (4Tr.)



3

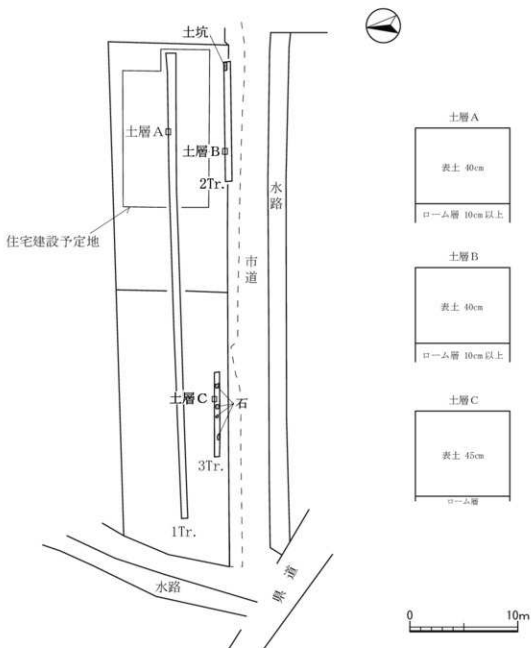


番号	器種	法量 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 甕	口径: 19.8 底径: — 器高: —	①普通 ②にふいね ③・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部上半残存	外面 口縁部ヨコナゲ。胴部ヘラケズリ。 内面 口縁部ヨコナゲ。胴部ヘラケズリ。	
2	土師器 坏	口径: (12.0) 底径: (8.0) 器高: 3.1	①良好 ②明赤褐色 ③角閃石・白色粒・黒色粒 ④1/4残存	外面 口縁部ヨコナゲ。体部～底部ヘラケズリ。 内面 口縁部ヨコナゲ。体部～底部ナゲ。	
3	須恵器 蓋	口径: 13.3 底径: — 器高: 2.9	①還元焼 ②褐色 ③チャート・長石・白色粒・黒色粒 ④一部欠損	口クロ整形。口唇部は折り曲げ。天井部は回転ヘラケズリ後、扁平な握みを貼り付け。	

第21図 断面図・出土遺物実測図

## 16 天神山古墳 (R3-No.218)

- ① 所在地 太田市内ヶ島町 1624-1
- ② 調査原因 建売住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 3本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土抗 1 基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構が建物建設予定地外のため、本調査の必要はないと判断される。



第22図 断面図・出土遺物実測図

17 推定東山道駅路下新田ルート  
(R3-No.203)

- ① 所在地 太田市鳥山上町 2268、2343-1 及び 2269-1、2343-2 の各一部
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 5 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡 1 軒、溝 1 条、土坑 3 基、古墳時代、奈良・平安時代の土器片及び埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構が建物建設予定地外のため、本調査の必要はないと判断される。



番号	器種	寸法 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 瓶か	口径: - 底径: - 器高: -	①還元焼 ②褐色 ③石英・白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	口唇部上位と下位にそれぞれ、1条の沈線を施し、内面は緩やかに屈曲する。口縁部には1段の波状文を施らせる。	
2	円筒埴輪	口径: - 底径: (19.0) 器高: -	①普通 ②明焼 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④底部破片	外面タテハケ調整。内面ナゲ調整。	

第23図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

### 18 三島遺跡 (R3-No.421)

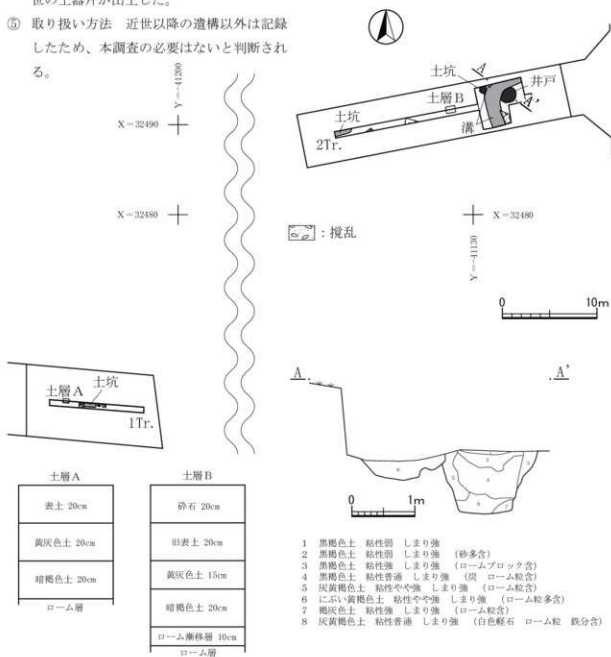
- ① 所在地 太田市藪塚町 2919、2920-1、-2 地内
- ② 調査原因 防火貯水槽設置工事
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 1 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第24図 確認調査平面図・断面図

## 19 浜町遺跡 (R3-No.126)

- ① 所在地 太田市本町 地内 (太田駅周辺土地区画整理地内 高架北4号線、区画道路6-34号線)
- ② 調査原因 区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ2本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 井戸1基、溝2条、土坑3基が確認され、古墳時代、奈良・平安時代及び近世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構以外は記録したため、本調査の必要はないと判断される。

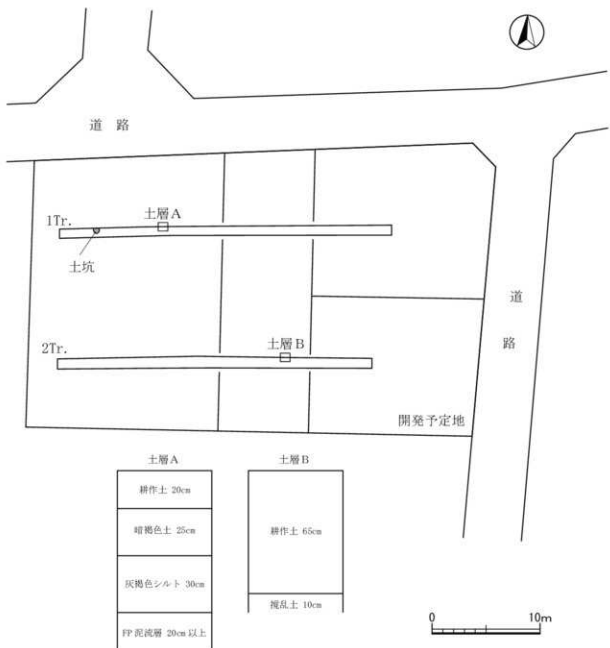


第25図 確認調査平面図・断面図



## 20 F P 泥流下遺跡群 (R3-No.252)

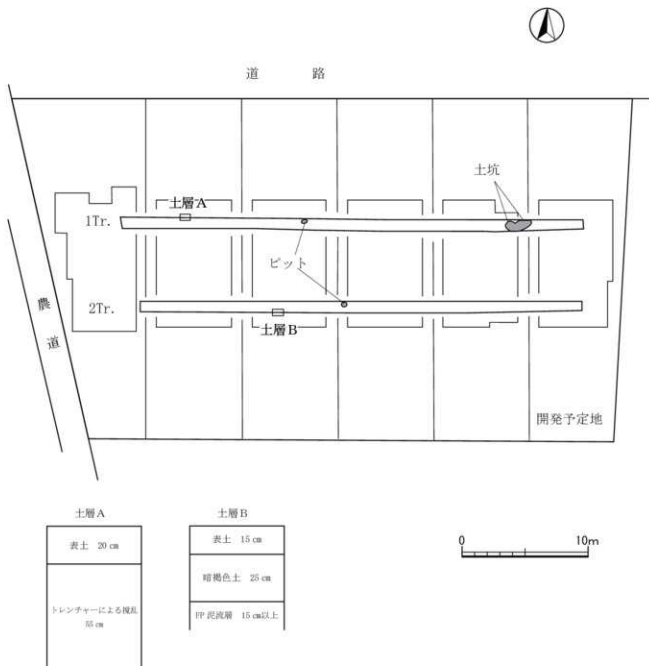
- ① 所在地 太田市亀岡町 674-2
- ② 調査原因 宅地分譲
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、FP 泥流層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑 1 基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 保護層が確保されるため、本調査の必要はないと判断される。



第26図 確認調査平面図・断面図

## 21 FP 泥流下遺跡群 (R3-№.359)

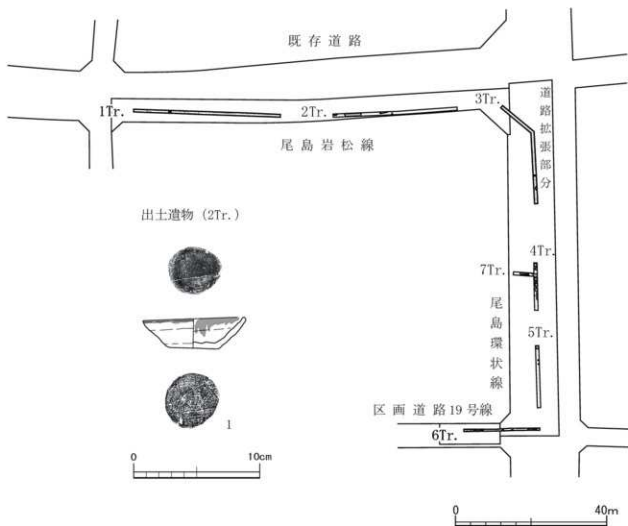
- ① 所在地 太田市亀岡町 676-1
- ② 調査原因 建売住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、FP 泥流層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑 2 基、ピット 2 基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 保護層が確保されるため、本調査の必要はないと判断される。



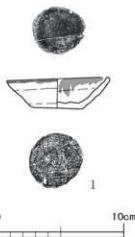
第27図 確認調査平面図・断面図

## 22 東部地区遺跡群 (R3-No.531)

- ① 所在地 太田市岩松町地内
- ② 調査原因 区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 7本を設定し、FP 泥炭層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 3 条、土坑 12 基、ピット 10 基が確認され、古墳時代の埴輪片、平安時代から近世の土器片・陶器片、石製品が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構のため、本調査の必要はないと判断される。



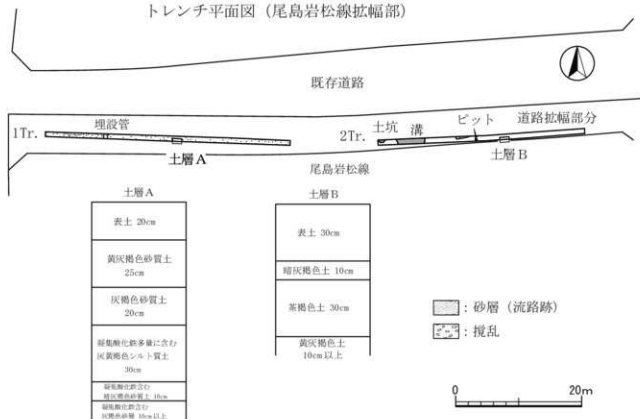
出土遺物 (2Tr.)



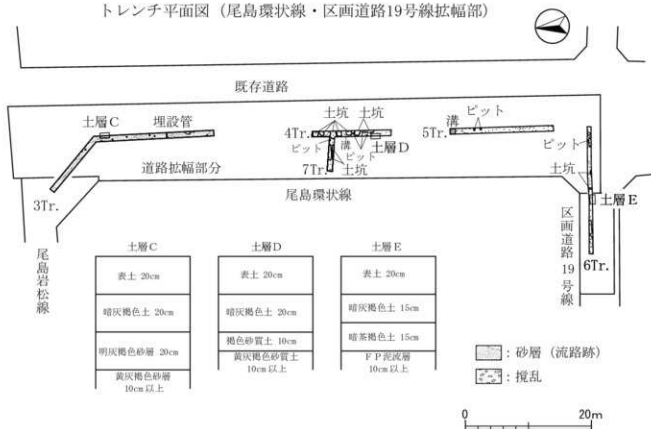
番号	器種	法量 [cm] (推定)	①地成 ②色画 ③粘土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	素地土器 かわらけ	口径: 8.0 底径: 4.0 器高: 2.5	①酸化腐 ②にぶい椀 ③チャート・角閃石・黒色粒・褐色粒 ④ 3/4残存	ロタロ整形。底部回転糸切り。外面底部板目状圧痕あり。内外面ともに口縁部に煤付着。	灯明皿として使用

第28図 確認調査平面図・出土遺物実測図

トレンチ平面図（尾島岩松線拡幅部）



トレンチ平面図（尾島環状線・区画道路19号線拡幅部）



第29図 確認調査平面図・断面図

## 23 西田島遺跡 (R3-No.128)

- ① 所在地 太田市下田島町 地内 (宝泉南部土地区画整理地内 区画道路 6-214 号線ほか)
- ② 調査原因 区画整理
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 1 条、土抗 5 基が確認され、埴輪片、縄文時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 道路築造部分は記録をしたため、本調査の必要はないと判断される。



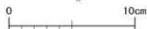
出土遺物 (1Tr. 土坑)



出土遺物 (2Tr.)



出土遺物 (2Tr. 土坑)

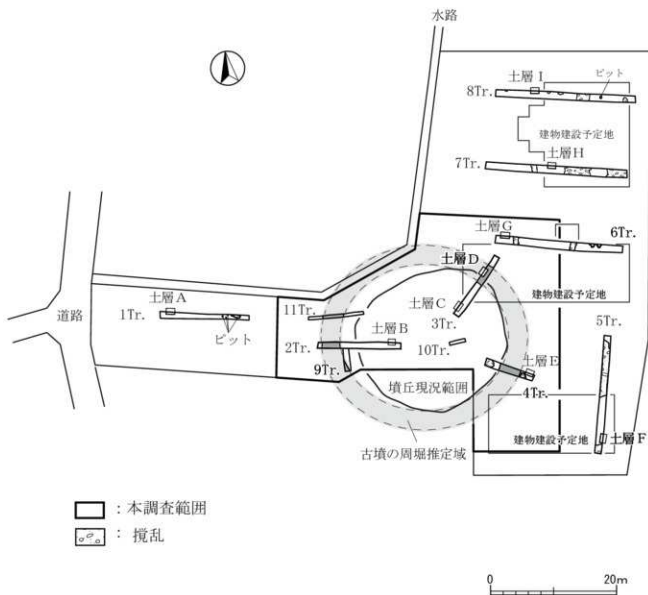


器種	法量 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③粘土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1 縄文土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: -	①普通 ②明赤地 ③織織・チャート・長石・白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	口縁部は折り返しによる有段口縁となり、R.Lの縄文を施す。	縄文前期初頭
2 縄文土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: -	①普通 ②赤地 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	幅広い比喩を施す。沈澱による区画文中にはL.Rの縄文を充填する。	縄文後期前半
3 縄文土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: -	①普通 ②赤地 ③チャート・白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	波状口縁。口唇部に沿って横位に比喩を施す。	縄文後期前半

第30図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

## 24 高林鶴巻古墳群 (R3-No.539)

- ① 所在地 太田市高林南町 811-3、812-2、-5 地内
- ② 調査原因 福祉施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 11 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 古墳 1 基、ピット 5 基が確認され、古墳時代の埴輪片、土師器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 建物および通路建設部分で遺構が壊されることから本調査を実施した。



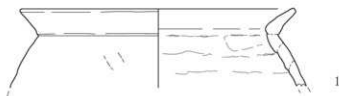
第31図 確認調査平面図

土層 A	土層 B	土層 C	土層 D	土層 E
表土 15cm	表土 25cm	表土 30cm	表土 45cm	表土 25cm
暗褐色土 15cm	暗褐色土	暗褐色土	暗褐色土 20cm	暗褐色土
暗褐色土にロームブロック 10cm	ロームブロック中量 50cm (攪乱層)	ロームブロック中量 45cm (攪乱層)		ロームブロック中量 25cm (攪乱層)
黄褐色ローム層 10cm 以上	褐色土	褐色土	黒色砂質土 30cm (周壁覆土)	褐色ローム層移行層 20cm
土層 F	褐色土にロームブロック主体 20cm 以上 (墳丘盛土)	褐色土にロームブロック主体 15cm 以上 (墳丘盛土)	黒灰色砂質土 20cm (周壁覆土)	黄色ローム層 10cm 以上
表土 20cm	土層 H	土層 I	褐色ローム層 15cm 以上	
黒色土 25cm	表土 25cm	表土 25cm		
黄褐色ローム層 10cm 以上	暗褐色砂質土 20cm	黒色土 25cm (旧表土)		
土層 G	褐色ローム層移行層 15cm	黒色土にロームブロック 10cm		
表土 15cm	黄色ローム層 10cm 以上	黄褐色ローム層 10cm 以上		
褐色土 15cm				
黄褐色ローム層 15cm 以上				

出土遺物 (表採)



出土遺物 (3Tr.)

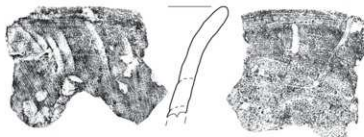


3

出土遺物 (6Tr.)



出土遺物 (表採)



2



4

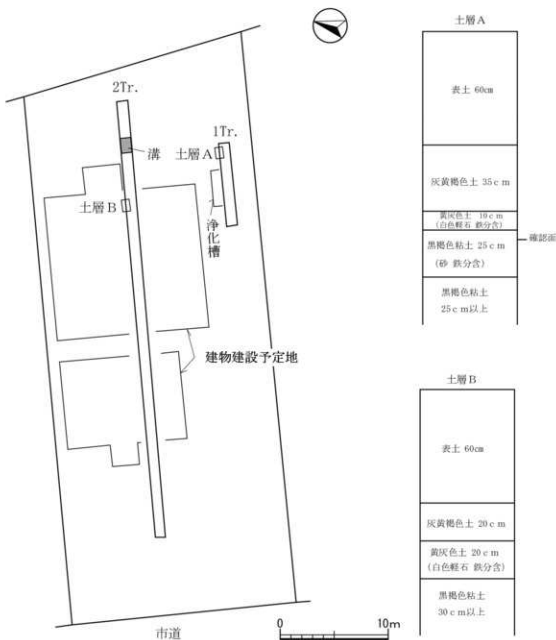


番号	器種	法量 [cm] (推定)	①焼成 ②変色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 甕	口径: (21.4) 底径: - 器高: -	①普通 ②明褐色 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部~胴部破片	外面 口縁部ヨコナデ。胴部厚耗が激しいもの、部分的にヘラケツリの手跡あり。 内面 口縁部ヨコナデ。胴部ヘラナデ。	
2	円筒埴輪	口径: - 底径: - 器高: -	①普通 ②緑 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部破片	口縁部は内外面ともにヨコナデ。外面タテハケ調整。内面ナデ調整。	
3	円筒埴輪	口径: - 底径: (16.0) 器高: -	①普通 ②明赤褐色 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④底部破片	外面タテハケ調整。内面ナデ調整。	
4	円筒埴輪	口径: - 底径: (9.6) 器高: -	①普通 ②緑 ③チャート・石英・長石・白色粒・黒色粒 ④底部破片	外面タテハケ調整後、突出の低い断面形状の突起を貼り付け、内面ナデ調整。	

第32図 断面図・出土遺物実測図

## 25 三枚橋南古墳群 (R3-No.405)

- ① 所在地 太田市鳥山町 553-1
- ② 調査原因 福祉施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 1 条が確認されたが、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構が建設予定地外のため本調査の必要はないと判断される。

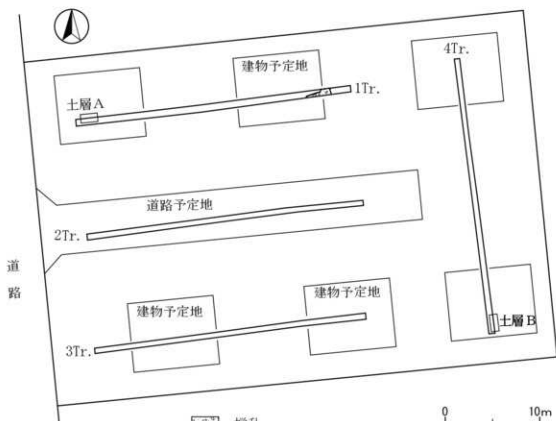


第33図 確認調査平面図・断面図



## 26 西野西遺跡 (R3-No.339)

- ① 所在地 太田市藪塚町 2952-3 地内
- ② 調査原因 建売分譲住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 4 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



: 攪乱

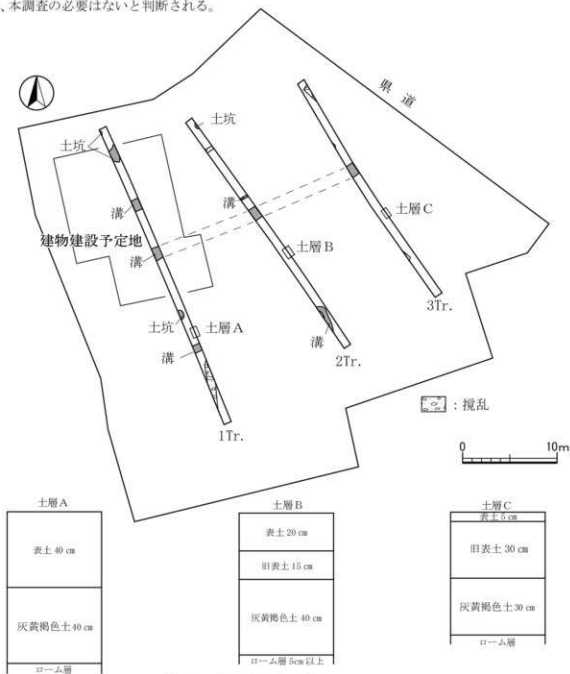
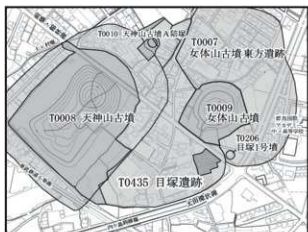
土層 A
表土 30cm
暗褐色土にロームが混ざる層 20cm
褐色ローム層 10cm 以上

土層 B
表土 25cm
ローム層 20cm
褐色ローム層 10cm 以上

第34図 確認調査平面図・断面図

## 27 目塚遺跡 (R3-No.251)

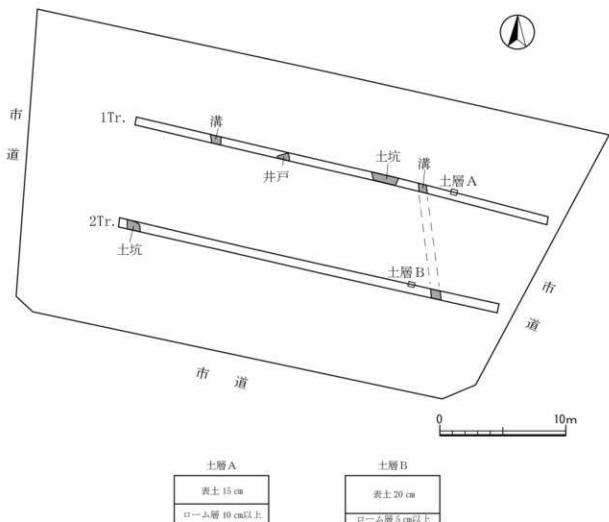
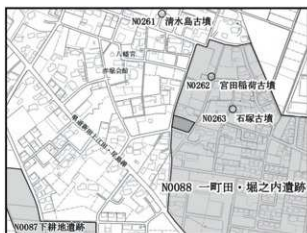
- ① 所在地 太田市内ヶ島町 1490-3、-14、1491
- ② 調査原因 店舗
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 3本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 5 条、土坑 4 基が確認され、中世の土器片、時期不明の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第35図 確認調査平面図・断面図

## 28 一町田・堀之内遺跡 (R3-No.75)

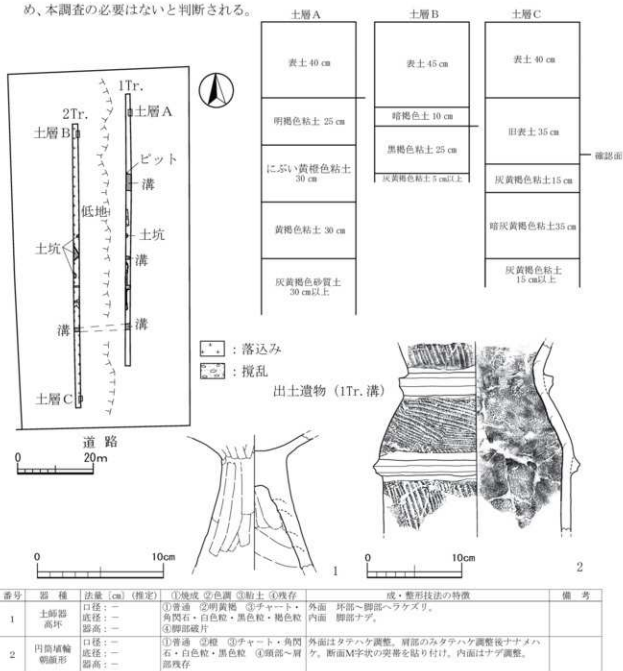
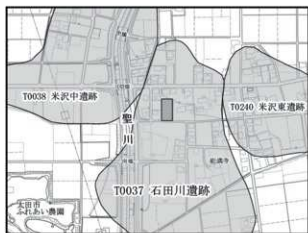
- ① 所在地 太田市新田赤塚町 368-2
- ② 調査原因 太陽光発電
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 2 条、土坑 2 基、井戸 1 基が確認され、縄文時代および時期不明の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第36図 確認調査平面図・断面図

## 29 石田川遺跡 (R3-No.622)

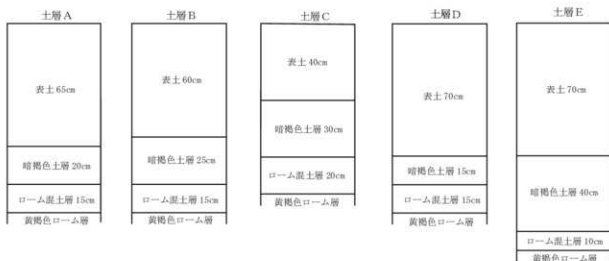
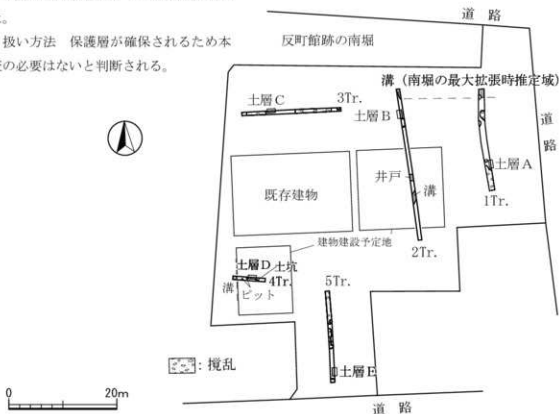
- ① 所在地 太田市米沢町 212-1
- ② 調査原因 太陽光発電
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 3条、土坑 4基、ピット 1基が確認され、古墳時代の土器片、埴輪片および時期不明の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第37図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

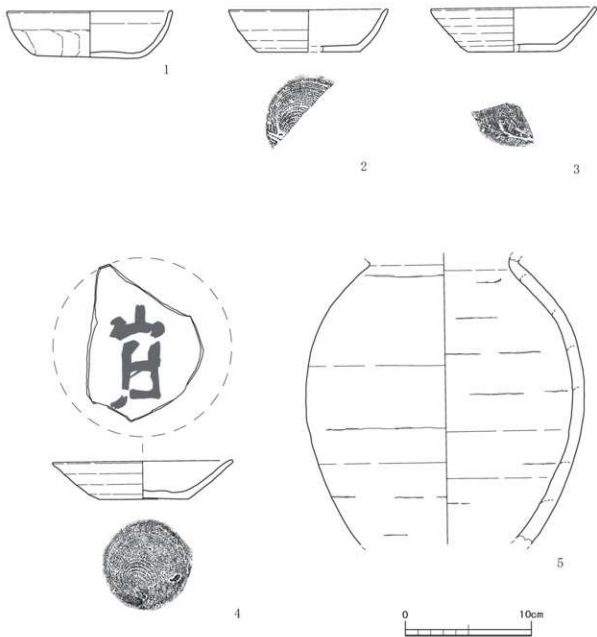
### 30 反町城館跡、要害遺跡 (R3-No.680)

- ① 所在地 太田市新田反町町 551-2、-3、552-1、-5、-6、554-1
- ② 調査原因 作業場
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 5本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 3 条、土抗 1 基、井戸 1 基、ピット 2 基が確認され、古墳時代の土師器片、平安時代の須恵器片・土師器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 保護層が確保されるため本調査の必要はないと判断される。



第38図 確認調査平面図・断面図

出土遺物 (2Tr.)

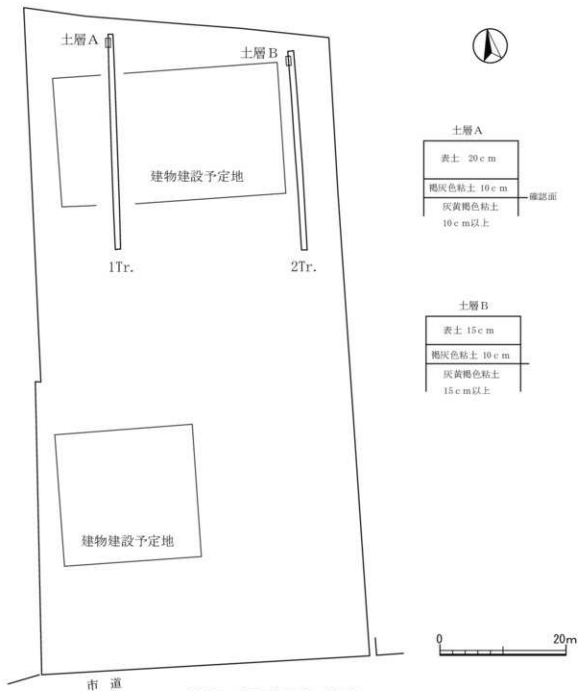


番号	器種	寸量 [cm] (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 杯	口径: 13.0 底径: 8.1 器高: 3.6	①普通 ②明焼 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④1/5残存	外面 口縁部ヨコナデ。体部～底部へラケズリ。 内面 口縁部ヨコナデ。体部～底部ナデ。	
2	須恵器 杯	口径: (12.6) 底径: 8.0 器高: (3.4)	①酸化焙 ②焼灰 ③白色粒・黒色粒 ④1/3残存	ロクロ整形。底部回転系切り。	
3	須恵器 杯	口径: (13.0) 底径: 7.0 器高: (3.4)	①還元焙 ②焼灰 ③チャート・白色粒・黒色粒 ④1/4残存	ロクロ整形。底部回転系切り。	
4	須恵器 壺	口径: (14.2) 底径: 7.0 器高: 3.0	①酸化気味 ②明焼灰 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④底部残存	ロクロ整形。底部回転系切り。内面底部に墨書「山月」。	
5	須恵器 壺	口径: - 底径: - 器高: -	①還元焙 ②焼灰 ③チャート・長石・白色粒・黒色粒 ④頭部～胴部残存	粘土組輪積み後、ロクロ整形。外面頭部～胴部、内面胴部下端に自然軸付着。	

第39図 出土遺物実測図

### 31 家前遺跡 (R3-No.283)

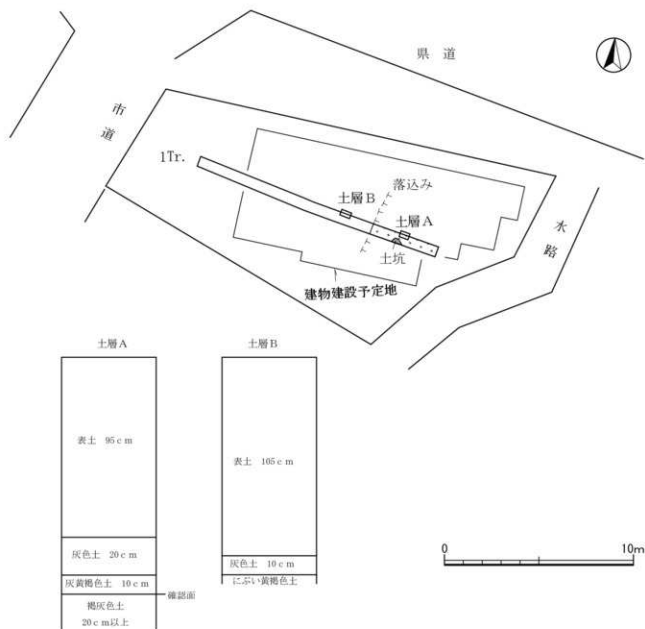
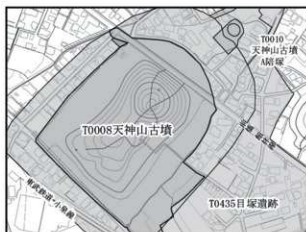
- ① 所在地 太田市岩瀬川町 91
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第40図 確認調査平面図・断面図

### 32 天神山古墳 (R3-No.413)

- ① 所在地 太田市内ヶ島町 1618-1
- ② 調査原因 個人住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 1 本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土抗 1 基が確認され、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

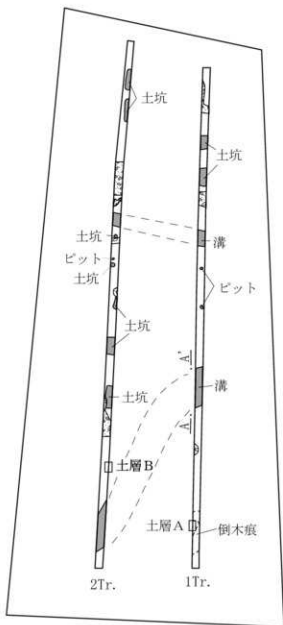
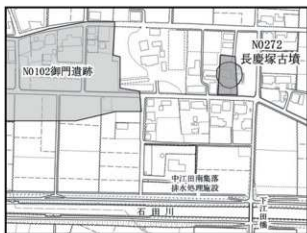


第41図 確認調査平面図・断面図

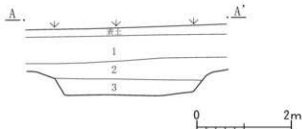


### 33 長慶塚古墳 (R3-No.759)

- ① 所在地 太田市新田下江田町 200-1
- ② 調査原因 宅地造成
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 2条、土坑 9基、ビット 3基が確認され、古墳時代から中・近世以降の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



土層A	土層B
表土 15 cm	表土 15 cm
暗褐色土 30 cm	褐灰色土 20 cm
にぶい・黄褐色土 10 cm	黒褐色土 30 cm
ローム層 10 cm	ローム 10 cm以上
ローム層	



- 1 黒褐色 粘性普通 しまり普通
- 2 黒色土 粘性やや強 しまり強
- 3 黒色粘土 粘性強 しまり強 (ロームブロック含む)

: 攪乱

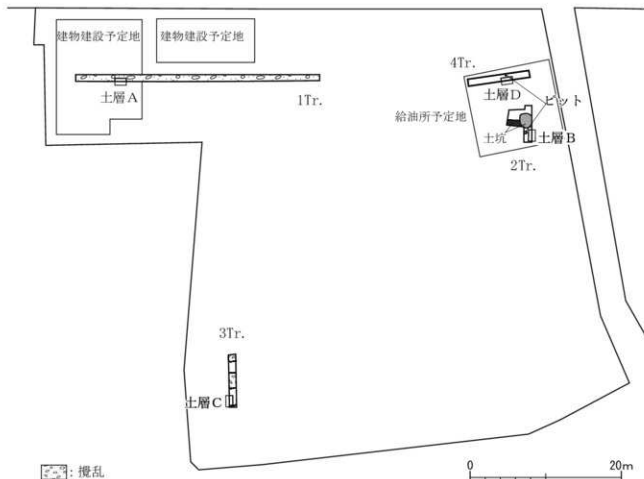


市道

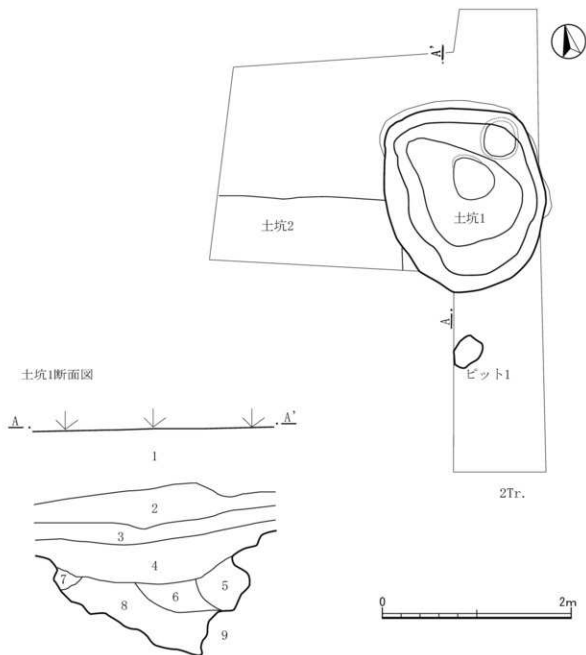
第42図 確認調査平面図・断面図

### 34 FP 泥流下遺跡群 (R3-No.48)

- ① 所在地 太田市安養寺町 34-1、-2、36-1、4、・11 地内
- ② 調査原因 事務所、倉庫
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 4 本を設定し、FP 泥流層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑 2 基、ピット 2 基が確認され、平安時代の須恵器片・土師器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

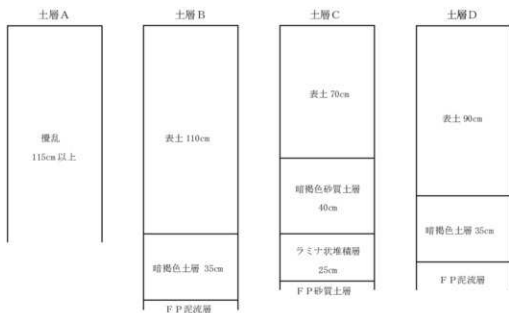


第43図 確認調査平面図

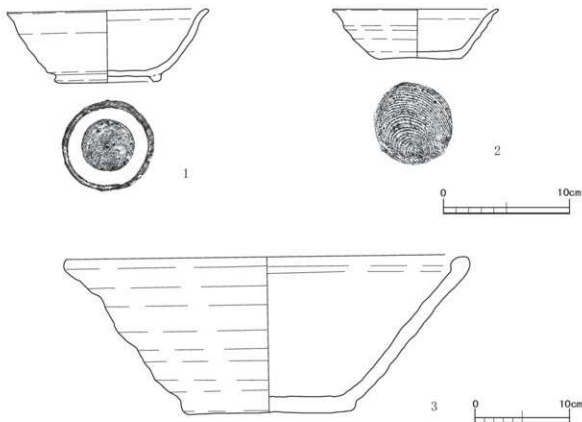


- |         |                         |
|---------|-------------------------|
| 1 表土    | 砕石                      |
| 2 黒色土   | 直径2～5mmの白色粒を含む          |
| 3 暗褐色土  | 砂質                      |
| 4 暗褐色土  | 砂質 F P泥流層の小ブロックを含む しまり中 |
| 5 暗褐色土  | 砂質 しまり無し                |
| 6 灰黄褐色土 | F P泥流層の中ブロックを含む 底に砂層    |
| 7 灰黄褐色土 | F P泥流層の中ブロックを含む         |
| 8 黒褐色土  | 砂質 底にF P泥流層の中ブロック しまり有り |
| 9 灰白色   | F P泥流層                  |

第44図 確認調査平面図・断面図



出土遺物 (2Tr.)

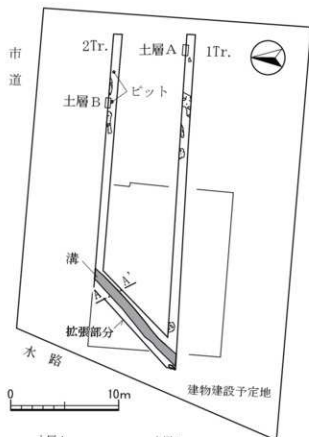


番号	器種	法量 [cm] (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 高台付埴	口径: 115.0 底径: 7.0 器高: 5.7	①酸化気味 ②にふい焼 ③チャート・長石・白色粒・黒色粒 ④2/3残存	ロクロ整形。底部回転系切り後、高台貼り付け。	
2	須恵器 埴	口径: 13.0 底径: 6.3 器高: 3.9	①酸化塩 ②にふい焼 ③チャート・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④4/5残存	ロクロ整形。底部回転系切り。	
3	軟質陶器 鉢	口径: 31.5 底径: 13.2 器高: 12.2	①酸化気味 ②焼灰 ③チャート・長石・白色粒 ④一部欠損	粘土紐輪積み後、ロクロ整形。	

第45図 断面図・出土遺物実測図

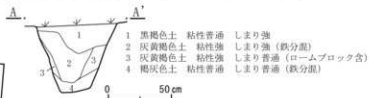
### 35 小舞木遺跡 (R3-No.501)

- ① 所在地 太田市小舞木町 554、555-1 の一部
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝1条、ピット2基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



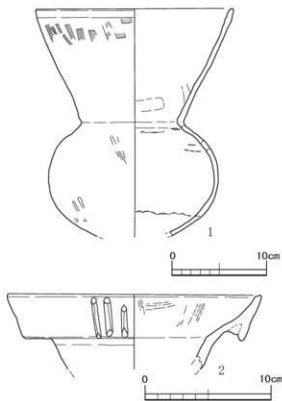
土層A	土層B
表土 15 cm	表土 20 cm
ローム 10 cm以上	ローム 10 cm以上

○●: 攪乱



- 1 黒褐色土 粘性普通 しまり強
- 2 灰黄褐色土 粘性強 しまり強 (鉄分混)
- 3 灰黄褐色土 粘性強 しまり普通 (ロームブロック含)
- 4 褐灰色土 粘性普通 しまり普通 (鉄分混)

出土遺物 (1Tr・2Tr)

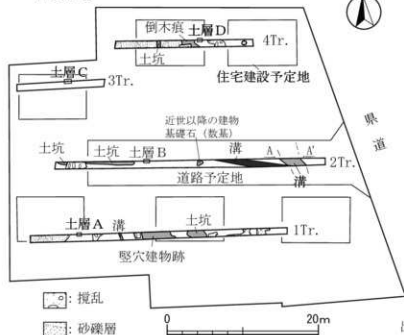


番号	器種	寸法 (cm) (推定)	①検出 ②色調 ③粘土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 埴	口径: (20.8) 底径: — 器高: —	①普通 ②明褐色 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④1/3残存	外面 口唇部コナデ。口縁部～体部摩擦激しいもの、部分的にナメハケ後ヘラミガキを施した痕跡が残る。体部に炭化物付着。 内面 口唇部コナデ。口縁部ヘラケズリ。体部に炭化物付着。	
2	土師器 壺	口径: (20.0) 底径: — 器高: —	①普通 ②粗 ③チャート・石英・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	外面 二重口縁。口縁部～頸部摩擦激しく調整不明瞭。口縁部折り返した後、頸部との間に粘土紐を充填する。口縁部上には3本の粘土紐を貼り付け、棒状浮文を施す。 内面 口縁部ヘラミガキ。	

第46図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

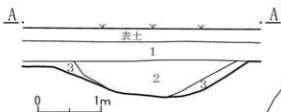
### 36 鳥ヶ谷戸遺跡 (R3-No.517)

- 所在地 太田市鳥山下町 853-1、鳥山中町 848-4
- 調査原因 宅地造成
- 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 4本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- 調査結果 竪穴建物跡 1軒、溝 3条、土坑 3基が確認され、古墳時代、奈良・平安時代の土器片が出土した。
- 取り扱い方法 道路新築予定地については記録をしたため、本調査の必要はないと判断される。

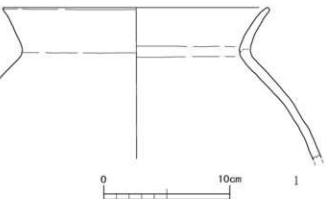


土層 A	土層 B
表土 30 cm	表土 25 cm
黄灰色土 15 cm	黄灰色土 25 cm
ローム層 10 cm	黒褐色土 35 cm
土層 C	ローム層 10 cm 以上
表土 30 cm	土層 D
黄灰色土 20 cm	表土 45 cm
にぶい黄褐色土 30 cm	
水径ローム層 10 cm 以上	ローム層

出土遺物 (2Tr.)



- 1 灰黄褐色土 白色軽石・炭を含む  
粘性弱 しまり強
- 2 黒褐色土 白色軽石・炭・ローム粒を含む  
粘性やや弱 しまり強
- 3 暗褐色土 粘性普通 しまり普通

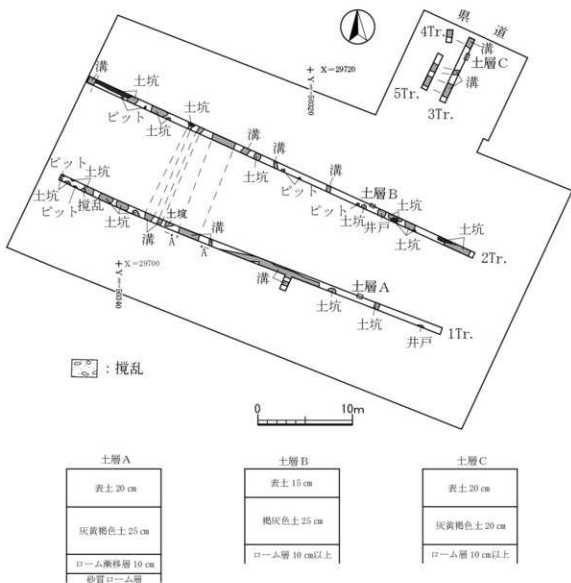


番号	器種	法量 [cm] (推定)	①堆成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 甕	口径: (20.8) 底径: - 器高: -	①普通 ②暗 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部~胴部破片	内外面ともに厚肌緻しく調整不明瞭。	

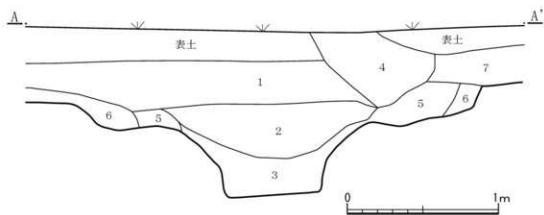
第47図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

### 37 新田館跡 (R3-No.264)

- ① 所在地 太田市世良田町 863-21、-22、866-13、867-1、-4
- ② 調査原因 駐車場、資材置き場
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 5本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 13条、土坑 24基、ビット 7基、井戸 2基が確認され、中世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 保護層が確保されるため、本調査の必要はないと判断される。

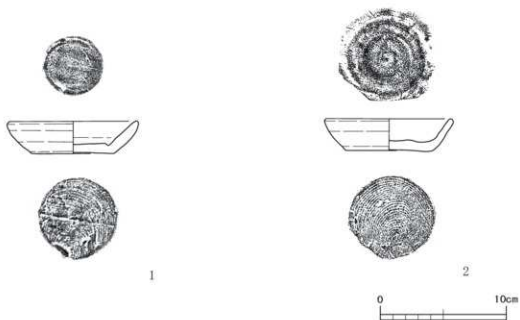


第48図 確認調査平面図・断面図



- 1 暗褐色土 炭・ローム粒・白色軽石を含む。粘性弱 しまり普通
- 2 暗褐色土 炭・ローム粒・ロームブロック・白色軽石を含む。粘性弱 しまりやや弱
- 3 黒褐色土 ロームブロック・炭を含む。粘性弱 しまりやや強
- 4 暗褐色土 粘性弱 しまり弱
- 5 暗褐色土 粘性弱 しまり弱
- 6 にぶい黄褐色土 粘性弱 しまり弱
- 7 暗褐色土 粘性弱 しまり普通

出土遺物 (2Tr.)



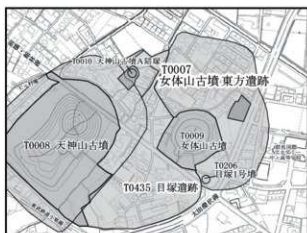
番号	器種	法量 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	素焼土器 かわらけ	口径: 10.1 底径: 6.6 器高: 2.5	①酸化焼 ②明赤褐 ③角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④完形	ロクロ整形。底部回転糸切り。外面底部板目状圧痕あり。内面底部縁には深いくぼみがある。	
2	素焼土器 かわらけ	口径: 9.8 底径: 6.6 器高: 2.5	①酸化焼 ②橙 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ③④残存	ロクロ整形。底部回転糸切り。	

第49図 断面図・出土遺物実測図



### 38 女体山古墳東方遺跡 (R3-No.458)

- ① 所在地 太田市内ヶ島町 1385-2、-9、-10
- ② 調査原因 店舗
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡 2軒、溝 1条が確認され、縄文時代、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。

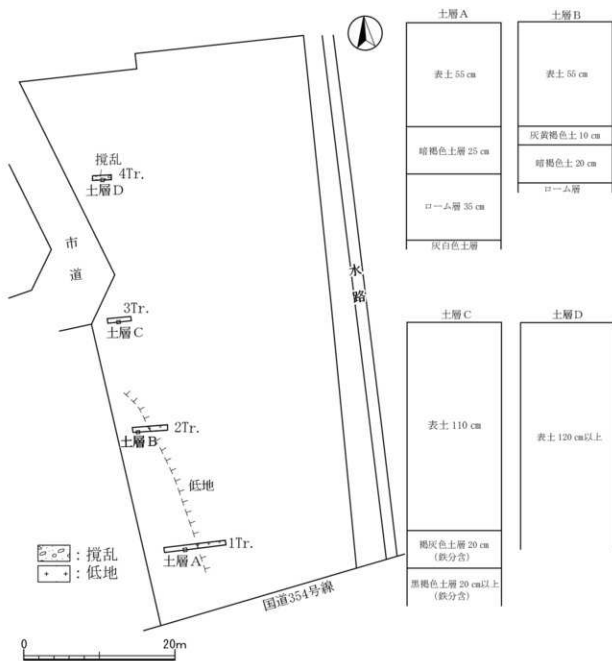


番号	器種	寸法 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	縄文土器 深鉢	口径: - 底径: - 器高: -	①青褐色 ②にじい地 ③長石・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	L.Rの縄文施文後、沈降によって横帯区画を施す。	縄文中期後半

第50図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

### 39 長福寺遺跡 (R3-No.771)

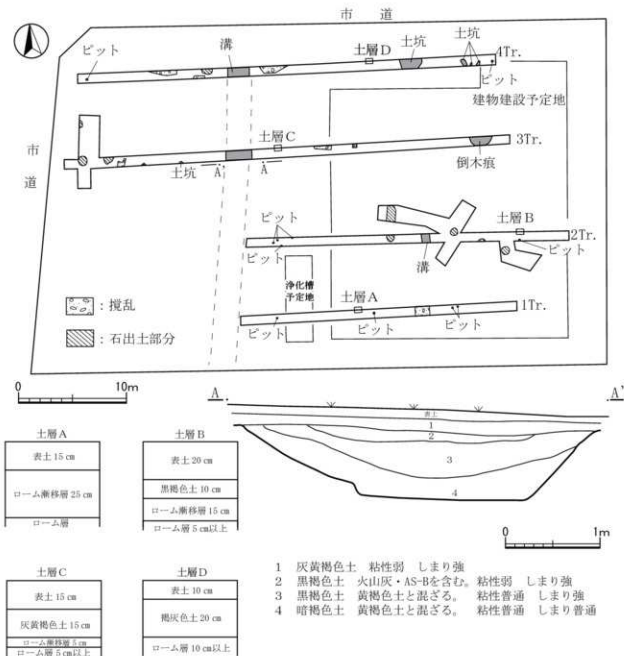
- ① 所在地 太田市下田島町 1116、1117-1 (仮換地：16-1街区 25、26)
- ② 調査原因 建売住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 4本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第51図 確認調査平面図・断面図

#### 40 入谷遺跡 (R3-No.567)

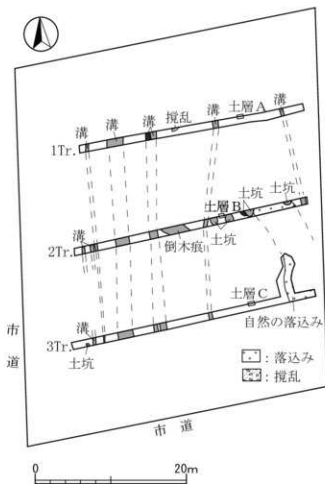
- ① 所在地 太田市新田小金井町 1317-7、-9
- ② 調査原因 福祉施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 4 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 2 条、土坑 5 基、ピット 11 基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第52図 確認調査平面図・断面図

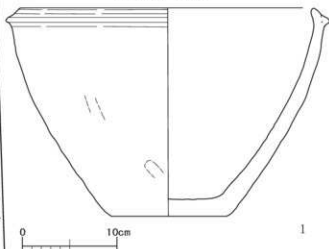
#### 41 清川遺跡 (R3-No.361)

- ① 所在地 太田市由良町 688、689
- ② 調査原因 資材置き場
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 3本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 7条、土坑 6基が確認され、奈良・平安時代および中世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



土層 A	土層 B	土層 C
表土 20 cm	表土 15 cm	表土 10 cm
黒褐色土 20 cm	黒褐色土 25 cm	暗褐色土 15 cm
ローム漸移層 10 cm	ローム漸移層 5 cm	ローム層 5 cm 以上
ローム層	ローム層	

出土遺物 (3Tr.)



出土遺物 (1Tr.)

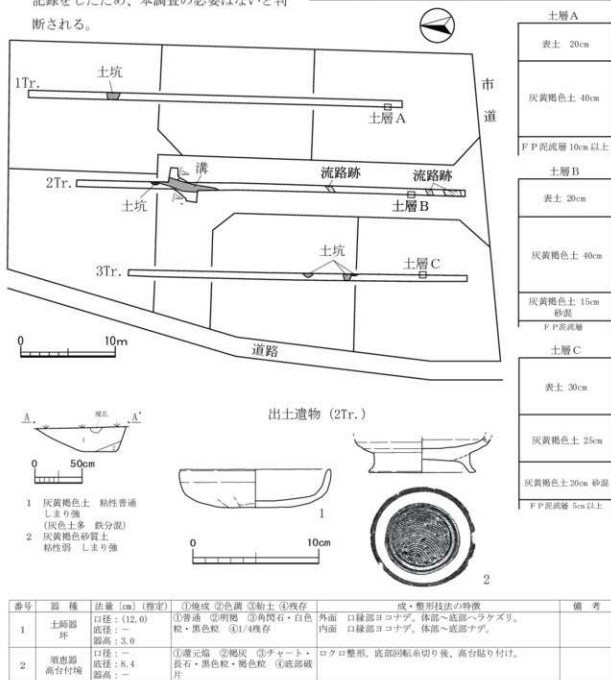


番号	器種	法載 (cm) (推定)	①焼成 ②色調 ③粘土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 羽釜	口径: (31.0) 底径: 12.1 器高: 22.0	①酸化焼 ②赤褐色 ③チャート・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④1/3 残存	断面三角形の短い筒を有する。外面胴部にはヘラケズリ痕、丁寧なナデを施す。	
2	焼締陶器 甕	口径: - 底径: - 器高: -	①硬質 ②焼灰 ③長石・白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	内外面ともに口縁部～頸部にかけて自然軸付き。	常滑 13世紀前半

第53図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

#### 42 F P 泥流下遺跡群 (R3-No.605)

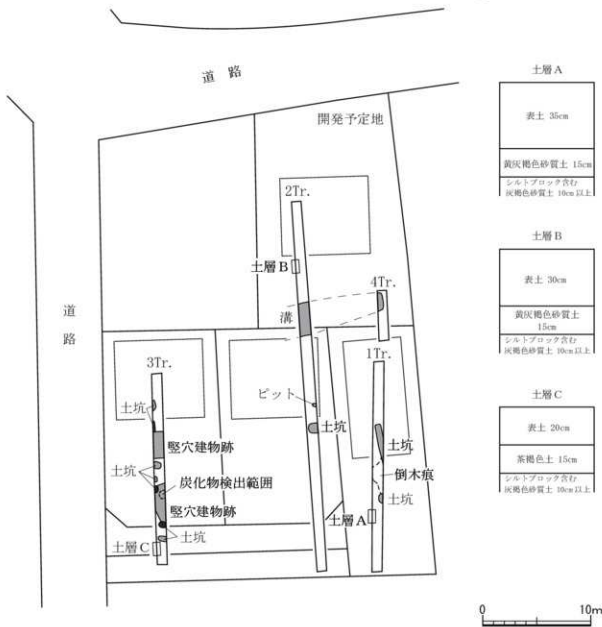
- ① 所在地 太田市亀岡町 552-1
- ② 調査原因 建売住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 3 本を設定し、FP 泥流層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 1 条、土坑 5 基が確認され、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 道路新築予定地については記録をしたため、本調査の必要はないと判断される。



第54図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

#### 43 F P 泥流下遺跡群 (R3-No.603)

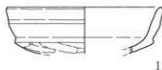
- ① 所在地 太田尾島町 274-1 の一部
- ② 調査原因 建売住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 4 本を設定し、FP 泥流層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡 2 軒、溝 1 条、土坑 10 基、ピット 1 基が確認され、古墳時代～平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 保護層が確保されるため、本調査の必要はないと判断される。



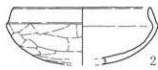
第55図 確認調査平面図・断面図



出土遺物 (5Tr.)



出土遺物 (3Tr.)



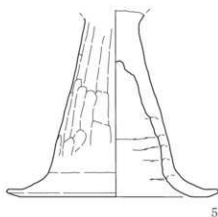
出土遺物 (5Tr.)



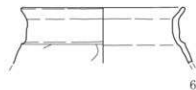
出土遺物 (2Tr.)



出土遺物 (3Tr.)



出土遺物 (2Tr.)



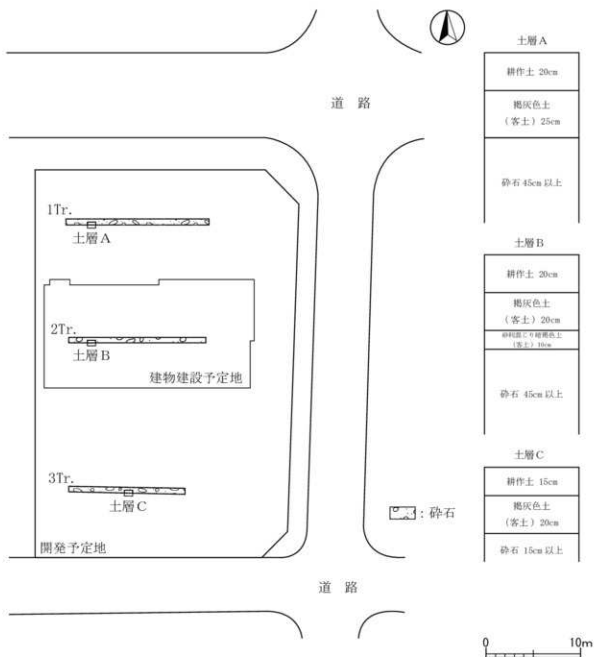
番号	器種	法量 [cm] (推定)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坪	口径：12.4 底径：— 器高：—	①普通 ②暗褐色 ③チャート・角閃石・白色粒 ④底部欠損	外面 口縁部ヨコナデで中位に段を有する。体部へ底部ヘラケズリ。口縁部と体部の境に緩やかな稜をなす。 内面 口縁部ヨコナデ。体部へ底部ナデ。	
2	土師器 坪	口径：(11.0) 底径：— 器高：—	①普通 ②暗褐色 ③チャート・角閃石・白色粒 ④1/4残存	外面 口縁部ヨコナデ。体部へ底部ヘラケズリ。口縁部と体部の境に緩やかな稜をなす。 内面 口縁部ヨコナデ。体部へ底部ナデ。	
3	土師器 坪	口径：— 底径：— 器高：—	①良好 ②明褐色 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④底部破片	外面 口縁部ヨコナデ。体部へ底部ヘラケズリ。口縁部と体部の境に緩やかな稜をなす。 内面 口縁部ヨコナデ。体部へ底部ナデ。	
4	土師器 坪	口径：11.4 底径：— 器高：7.1	①普通 ②褐色 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④口縁部一部欠損	外面 口縁部ヨコナデで中位に段を有する。体部へ底部ヘラケズリ。 内面 口縁部ヨコナデ。体部へ底部ナデ。	
5	土師器 高坪	口径：— 底径：(16.8) 器高：—	①普通 ②明褐色 ③チャート・角閃石・白色粒・黒色粒 ④脚部残存	外面 脚部ヘラケズリ。裾部ヨコナデ。 内面 脚部ナデ。裾部ヨコナデ。	
6	土師器 甕	口径：(13.0) 底径：— 器高：—	①普通 ②黄褐色 ③チャート・長石・角閃石・白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部破片	外面 口縁部へ頸部コの字状にヨコナデ。胴部ヘラケズリ。 内面 口縁部へ頸部ヨコナデ。	

第57図 出土遺物実測図



#### 45 新ヶ谷戸遺跡 (R3-No.601)

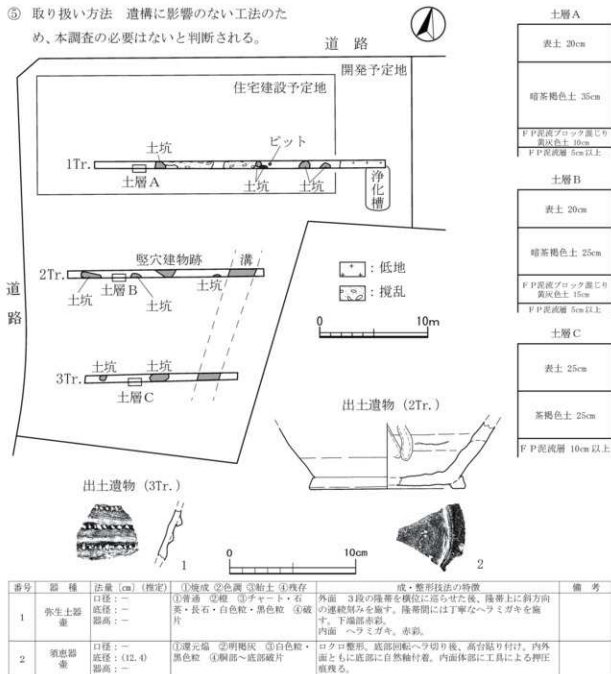
- ① 所在地 太田市南矢島町 670-2、679-1、-2
- ② 調査原因 集合住宅、事務所
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 3本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第58図 確認調査平面図・断面図

#### 46 東部地区遺跡群 (R3-No.827)

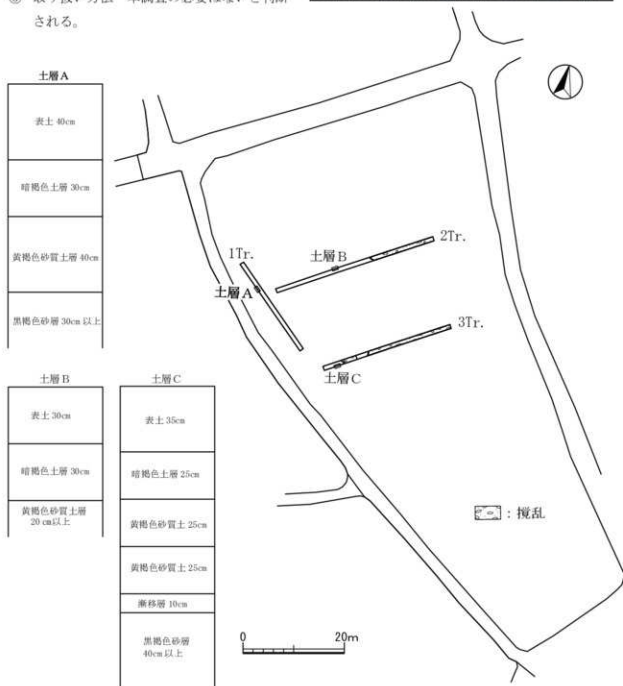
- ① 所在地 太田市堀口町 159-1、-2、-3、-4、-5、-6、-7、220-3、-4、-8、221-12、-25
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 3本を設定し、FP 泥流層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡 1軒、溝 1条、土坑 10基、ビット 1基遺構が確認され、縄文時代、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第59図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

#### 47 流作場遺跡 (R3-No.764)

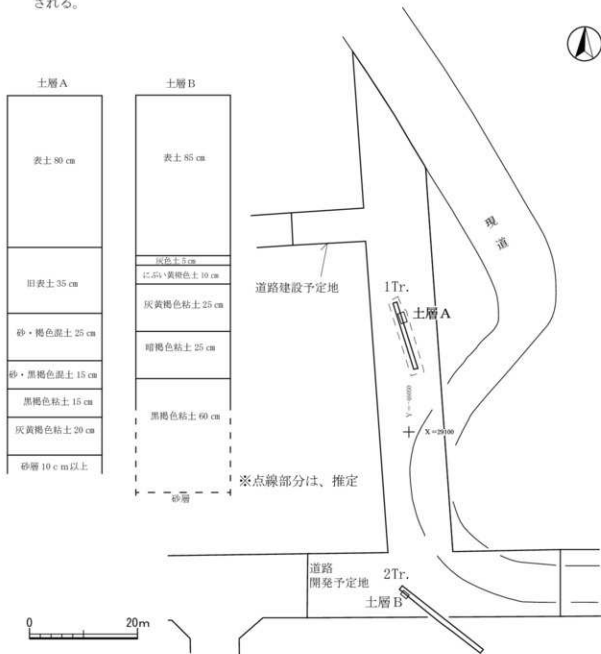
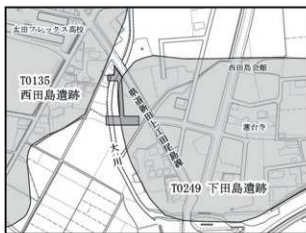
- ① 所在地 太田市丸山町の一部(丸山町1266他)地内
- ② 調査原因 商業施設造成
- ③ 調査方法 開発予定地の包蔵地周辺を対象にトレンチ3本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第60図 確認調査平面図・断面図

#### 48 下田島遺跡 (R3-No.1073)

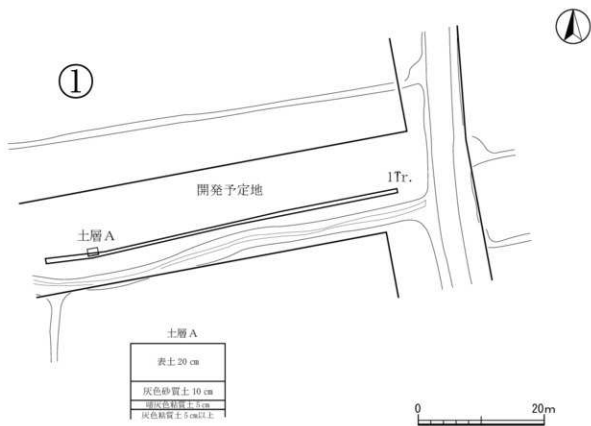
- ① 所在地 太田市下田島町地内 (宝泉南部土地区画整理地内 区画道路 12-2 号線、宝泉南部 2 号線)
- ② 調査原因 区画整理 (道路)
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



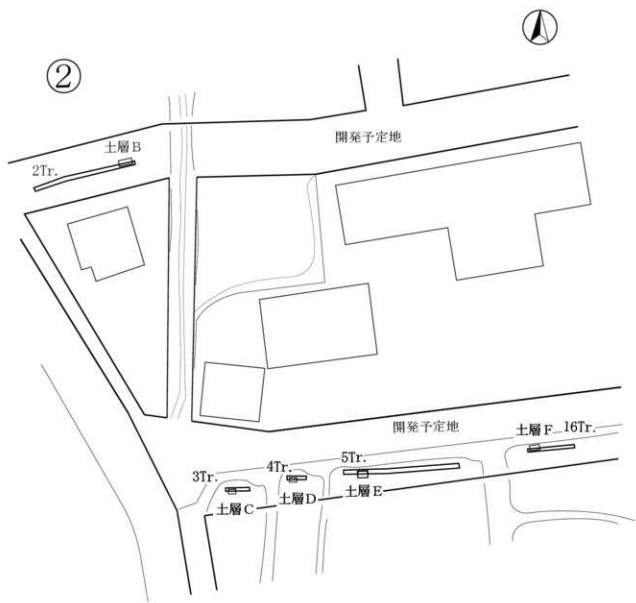
第61図 確認調査平面図・断面図

#### 49 古水条里制水田跡 (R3-No.1076)

- ① 所在地 太田市緑町地内
- ② 調査原因 圃場整備
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ16本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構は確認されなかった。遺物は平安時代、時期不明の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第62図 確認調査平面図・断面図

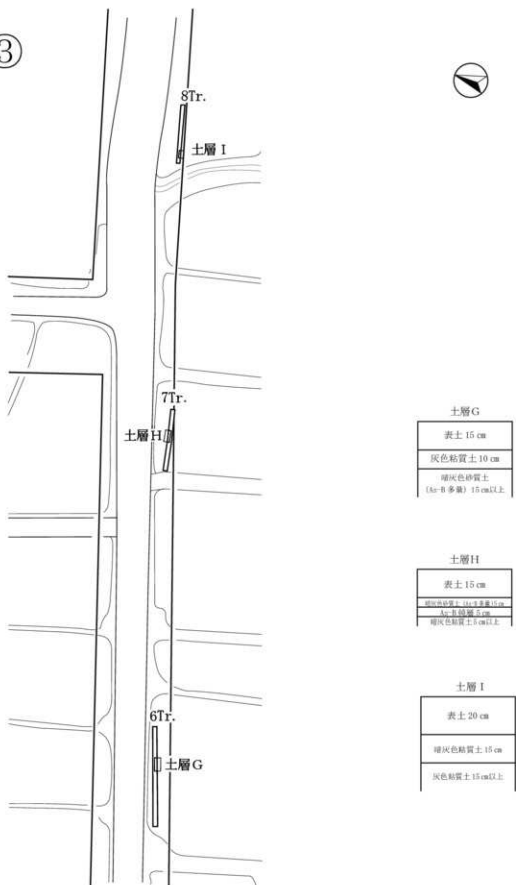


土層 B	土層 C	土層 D	土層 E	土層 F
表土 15 cm	表土 20 cm	表土 30 cm	表土 20 cm	表土 20 cm
暗灰色粘質土 15 cm	灰色粘質土 20 cm 以上	灰色粘質土 10 cm 以上	灰色粘質土 (砂質土・中砂質) 10 cm	灰色粘質土 20 cm
灰色粘質土 10 cm			灰色粘質土 5 cm 以上	
灰黄褐色粘質土 15 cm 以上				灰色粘質土 (A <sub>v</sub> -B 中層) 20 cm 以上

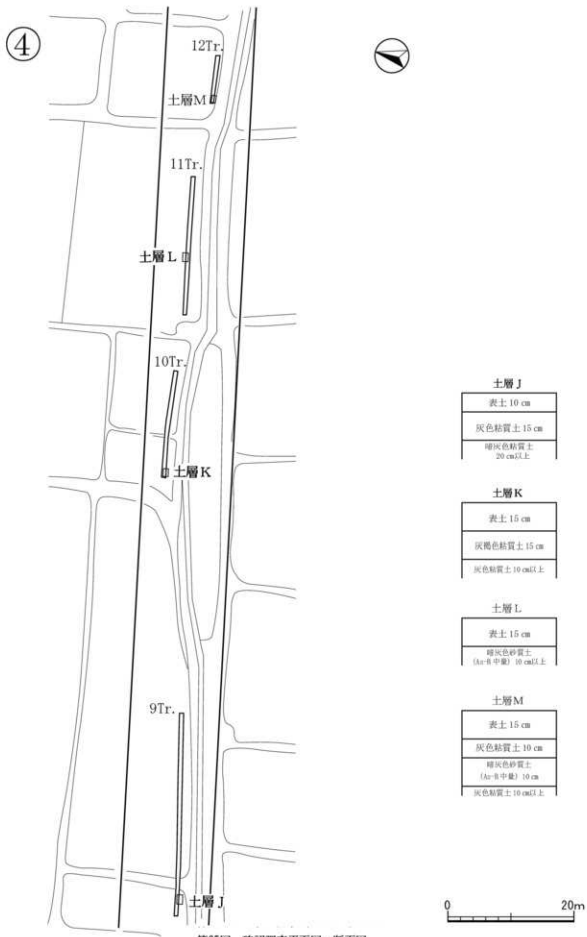


第63図 確認調査平面図・断面図

③



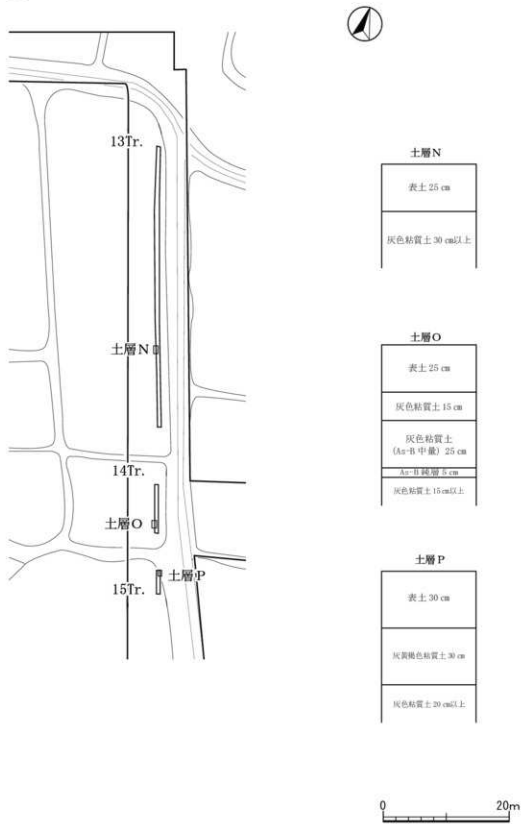
第64図 確認調査平面図・断面図



第65図 確認調査平面図・断面図



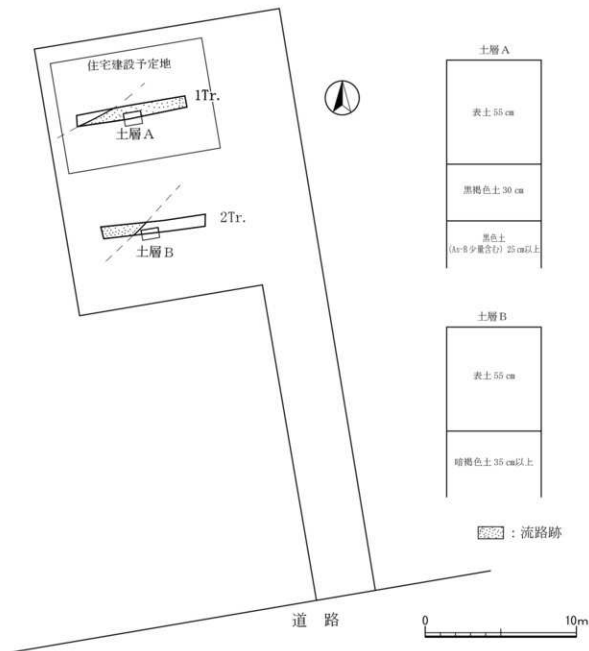
⑤



第66図 確認調査平面図・断面図

### 50 堀廻遺跡 (R3-Na.776)

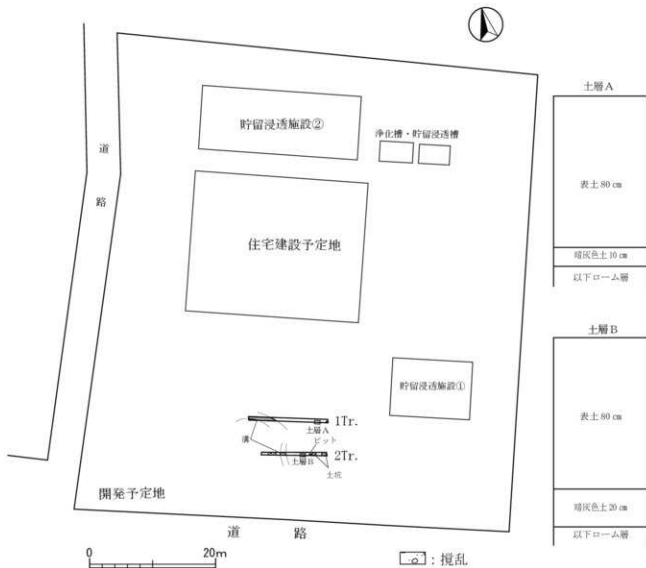
- ① 所在地 太田市新田小金井町 1664-4、-5
- ② 調査原因 個人住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第67図 確認調査平面図・断面図

### 51 龍舞深町遺跡 (R3-No.639)

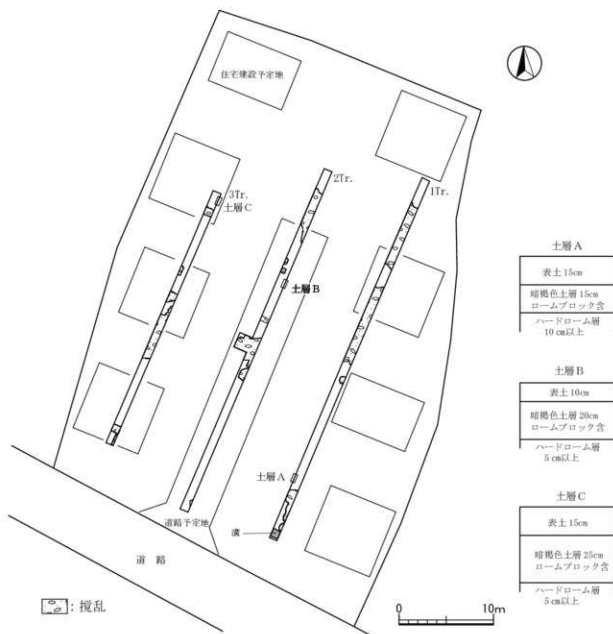
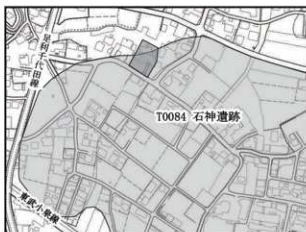
- ① 所在地 太田市龍舞町 589-3
- ② 調査原因 事務所
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 時期不明の溝 2 条、土坑 2 基、ピット 1 基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 保護層が確保されるため、本調査は、必要ないと判断される。



第68図 確認調査平面図・断面図

## 52 石神遺跡 (R3-No.1146)

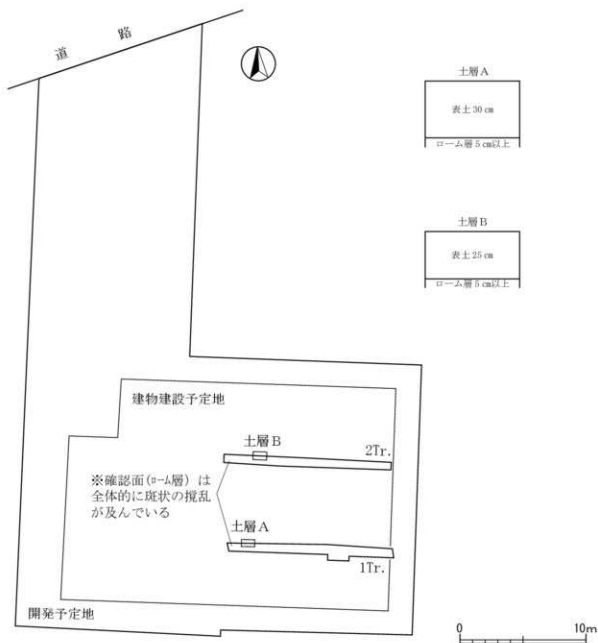
- ① 所在地 太田市龍舞町 805・1 地内
- ② 調査原因 宅地分譲
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 3 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 1 条、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 保護層が確保されるため、本調査の必要はないと判断される。



第69図 確認調査平面図・断面図

### 53 延享割遺跡 (R3-No.362)

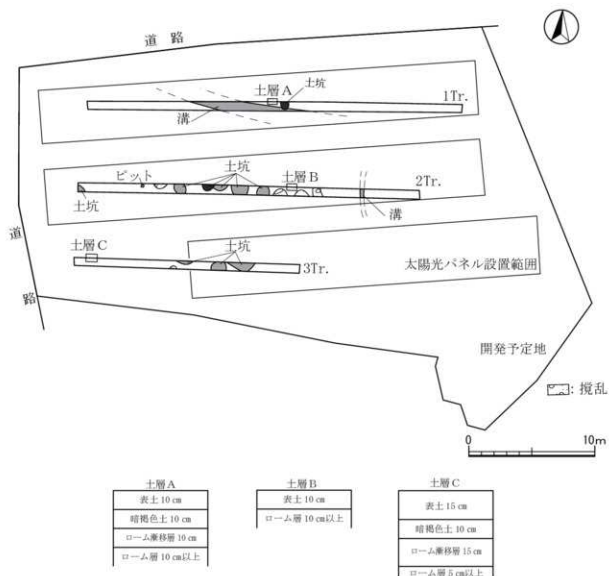
- ① 所在地 太田市泉町 1449-5、1450-1、-7
- ② 調査原因 体育館
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第70図 確認調査平面図・断面図

#### 54 下原遺跡 (R3-Na717)

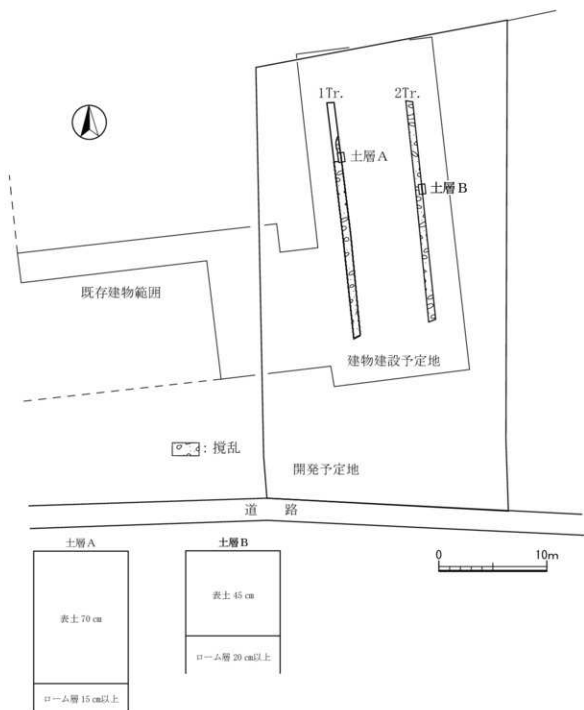
- ① 所在地 太田市脇屋町 121-1
- ② 調査原因 太陽光発電
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 3本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 2 条、土坑 10 基、ピット 1 基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第71図 確認調査平面図・断面図

### 55 下原遺跡 (R3-No.612)

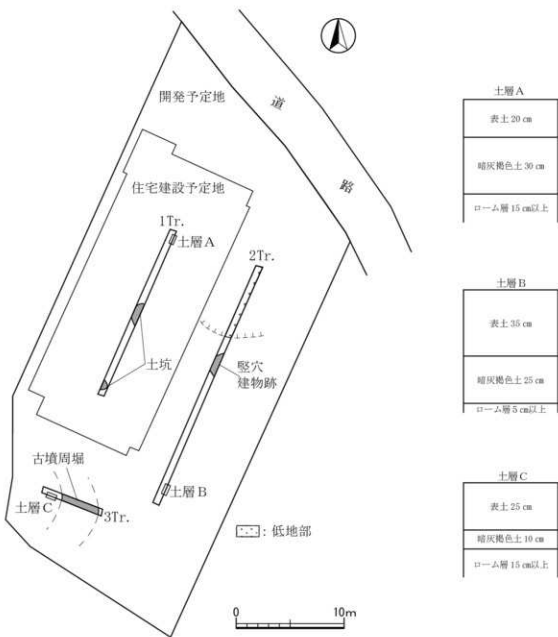
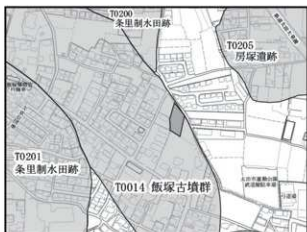
- ① 所在地 太田市新野町 852-3、脇屋町 119-3
- ② 調査原因 福祉施設
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第72図 確認調査平面図・断面図

## 56 飯塚古墳群 (R3-No.1210)

- ① 所在地 太田市飯塚町 915-1、916-2
- ② 調査原因 集合住宅
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 3本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 古墳の周堀 1条、竪穴建物跡 1軒、土坑 2基が確認され、古墳時代の土器片・埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 保護層が確保されるため、本調査の必要はないと判断される。

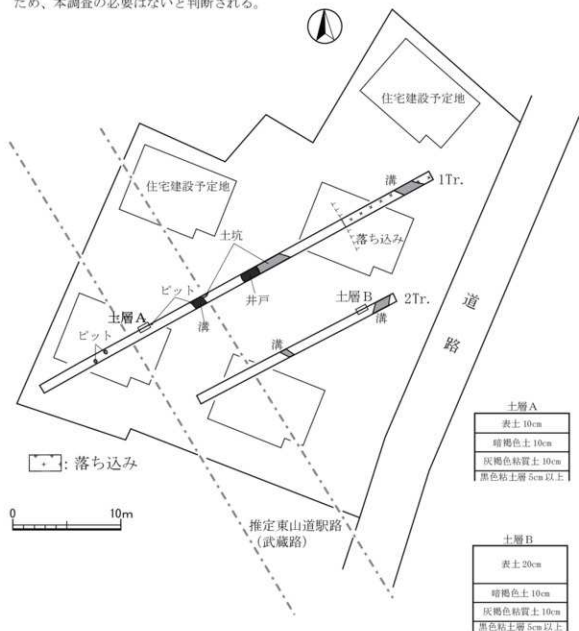


第73図 確認調査平面図・断面図



57 推定東山道駅路(武蔵路)(R3-No.728)

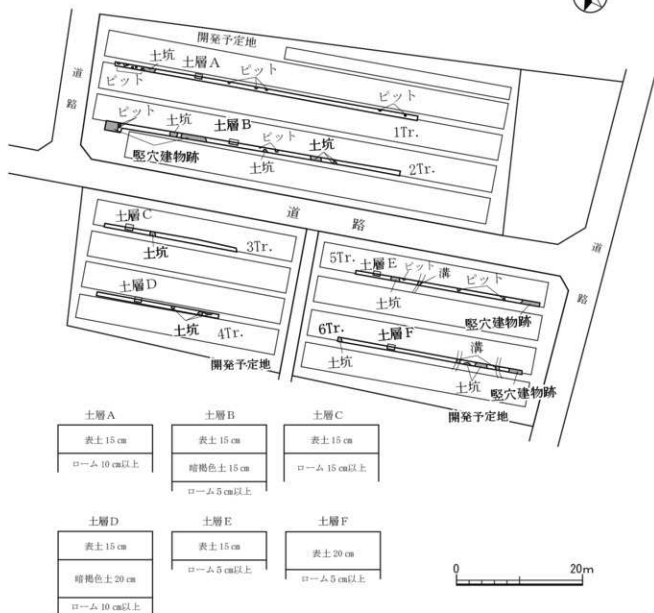
- ① 所在地 太田市下浜田町 1006-1、-2 地内
- ② 調査原因 宅地造成
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 4 条、土坑 2 基、ピット 4 基、井戸 1 基が確認され、古墳時代、奈良時代、中世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第74図 確認調査平面図・断面図

## 58 北宿遺跡 (R3-Na1132)

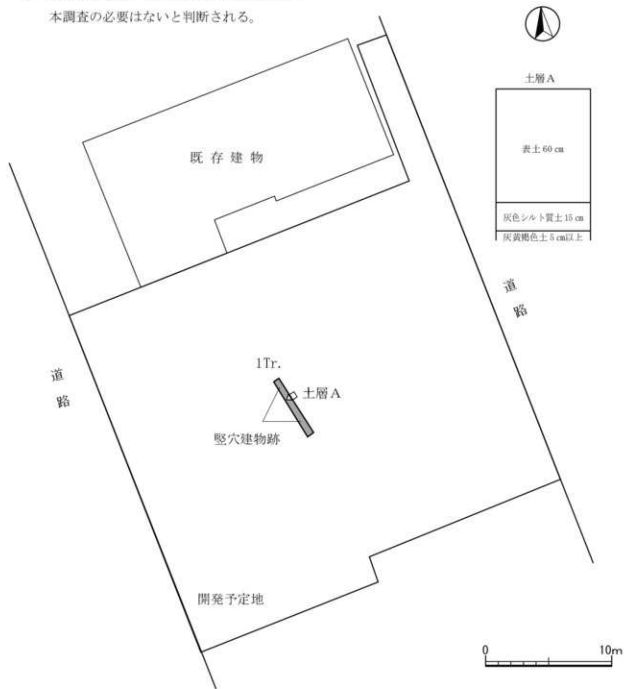
- ① 所在地 太田市新田上江田町 689-1, 690, 1037-1
- ② 調査原因 太陽光発電
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 6 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡 4 軒、溝 3 条、土坑 14 基、ビット 18 基が確認され、近世の陶器片、時期不明の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本調査の必要はないと判断される。



第75図 確認調査平面図・断面図

### 59 舞台A・D遺跡 (R3-No.1201)

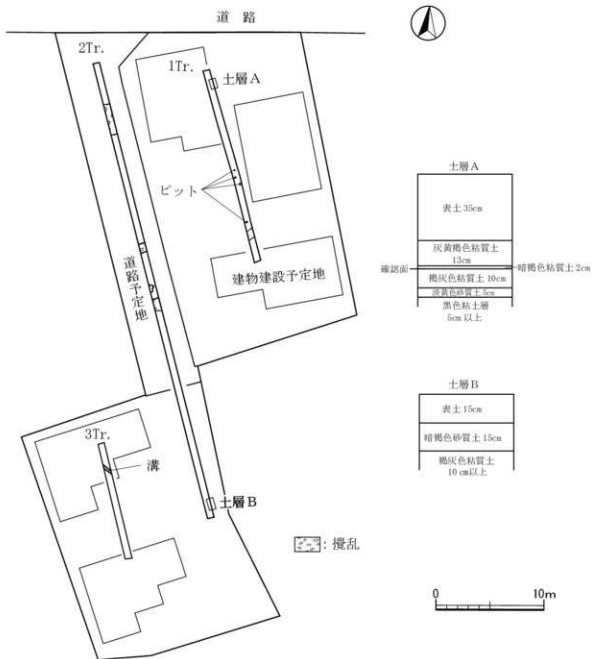
- ① 所在地 太田市西本町 43-3、-4、-5、-10、-11
- ② 調査原因 駐車場
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 1 本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 竪穴建物跡 2 軒が確認され、時期不明の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 保護層が確保されるため、本調査の必要はないと判断される。



第76図 確認調査平面図・断面図

## 60 道灌谷遺跡 (R3-No.1100)

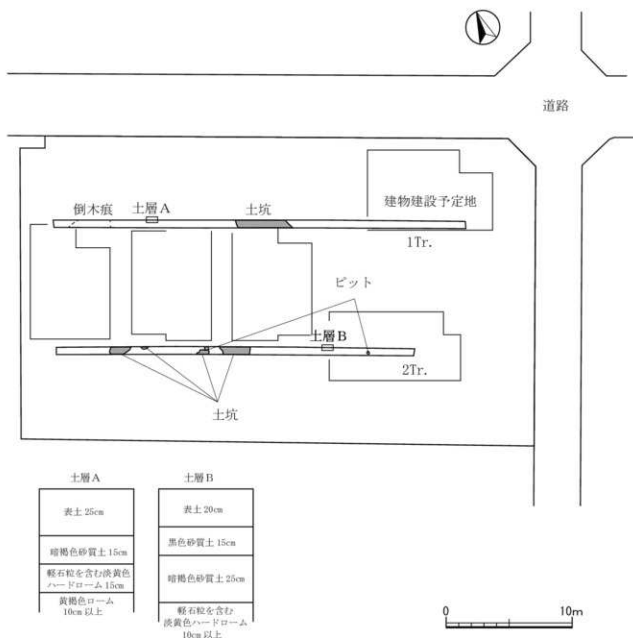
- ① 所在地 太田市下浜田町 731-1、729 地内
- ② 調査原因 建売分譲
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 3 本を設定し、遺構確認面まで掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 溝 1 条、ピット 4 基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 保護層が確保されるため、本調査の必要はないと判断される。



第77図 確認調査平面図・断面図

### 61 由良天王遺跡 (R3-No.780)

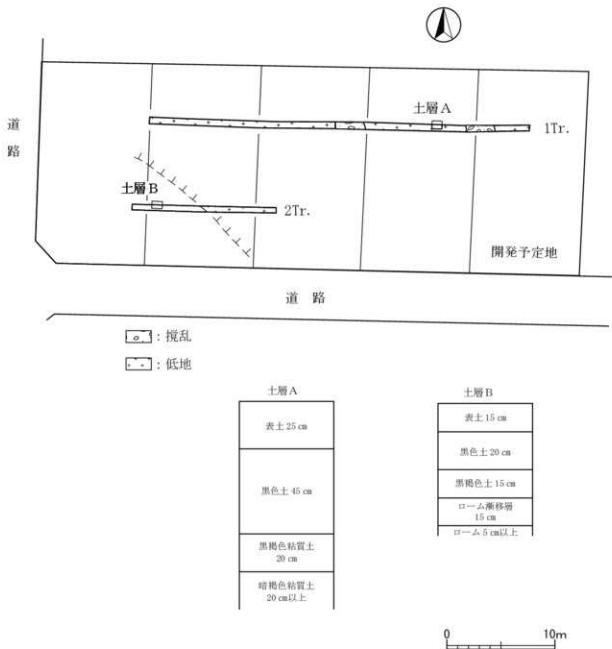
- ① 所在地 太田市由良町 1801 地内
- ② 調査原因 建売分譲
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 土坑 5 基、ピット 2 基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 保護層が確保されるため、本調査の必要はないと判断される。



第78図 確認調査平面図・断面図

## 62 大通寺後遺跡 (R3-№1105)

- ① 所在地 太田市新田木崎町 1308-4
- ② 調査原因 宅地造成
- ③ 調査方法 開発予定地を対象にトレンチ 2 本を設定し、ローム層を基準に掘り下げて遺構・土層確認及び写真撮影を行った。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本調査の必要はないと判断される。



第79図 確認調査平面図・断面図

## 第5章 まとめ

令和3年度における市内遺跡の確認調査は62箇所で行った。遺構が確認されたのは45箇所であり、そのうち5箇所が本調査となった。(本調査対象となった5箇所のうち1箇所は、開発が中止となった。)残りの40箇所については、現状保存されるか、近世以降の遺構であるため本調査には至らなかった。下記特記事項を記載する。

### ①富沢古墳群 (4-R3-No.59-28493)

『上毛古墳総覧』の沢野村2号墳に該当すると判断される古墳が現存する。約20mの円墳状の墳丘が現存し、市営富沢団地から北に100m以内の地点にある。集合住宅建設に伴い確認調査を行い本調査対象となったが、その後開発計画が中止となった。

### ②東別所西原遺跡 (14-R3-No.57-28491)

東別所西原遺跡は、国道354号線の北側で太田市運動公園から南に0.7kmに位置する遺跡で、建売住宅建設に伴い確認調査を行い道路建設部分の本調査を実施した。

本調査の結果、古墳時代の溝1条、竪穴建物跡2軒、土坑5基、奈良・平安時代の竪穴建物跡1軒、時期不明の土坑7基、ビット2基が確認され、古墳時代や奈良・平安時代の土器片が出土した。

### ③鳥山寺中遺跡、推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ルート (15-R3-No.318-28972)

鳥山寺中遺跡は、蛇川と八瀬川に挟まれ、県道太田・大間々線の東側で東武桐生線の西側に沿って存在している。また、推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ルートは、鶴山古墳、亀山古墳のすぐ北で鳥山寺中遺跡の中央を横切って東西に走っている遺跡である。分譲住宅建設に伴い確認調査を行い、道路建設部分の本調査を実施した。

本調査の結果、古墳時代後期から奈良・平安時代の竪穴建物跡13軒、土坑41基、井戸1基、ビット78基が確認され、土師器高坏や須恵器蓋などの土器片が出土した。

### ④高林鶴巻古墳群 (24-R3-No.539-29377)

高林鶴巻古墳群は、石田川と八瀬川の合流地点から北北西に約1kmの位置にあり、西側は県立がんセンターと接している。福祉施設建設に伴い確認調査を行い、建物建設部分について本調査を実施した。

本調査の結果、古墳時代の古墳2基、土坑2基、溝2条、ビット36基、不明遺構1基が確認された。1基の古墳は、『上毛古墳総覧』の旧沢野村88号墳と判断され、円筒埴輪や土師器、鉄刀などの遺物が出土した。築造年代は5世紀後葉と考えられる。

### ⑤宮西遺跡 (44-R3-No.626-29553)

宮西遺跡は、国道407号線の東側、国道354号線の北側で遺跡内には長良神社がある。集合住宅建設に伴い確認調査及び本調査を実施した。

本調査の結果、縄文時代の土坑1基、古墳時代の竪穴建物跡4軒、土坑1基、井戸2基、飛鳥時代の竪穴建物跡2軒、奈良・平安時代の竪穴建物跡5軒、井戸3基、土坑1基、近世の溝2条、柵列1条、時期不明の土坑17基、ビット35基が確認された。また、縄文時代、古墳時代、飛鳥・奈良・平安時代、近世の土器片及び埴輪片や翡翠製と思われる勾玉が出土した。

以上本調査に至ったものを挙げた。その他、以下列挙する。

推定東山道駅路下新田ルート（17-R3-Na203-28759）では、道路及び道路側溝に関するものは確認できなかった。石田川遺跡（29-R3-Na622-29547）では、溝から朝顔形の円筒埴輪片が出土した。おそらく近くに古墳が存在したと思われる。反町城館跡・要害遺跡（30-R3-Na680-29652）では反町城館の南堀の最南端が確認できたが、時期は不明である。また、井戸からは墨書の須恵器坏が出土した。新田館跡（37-R3-Na264-28869）では、上端幅約2.5m、深さ0.7m程の栗研堀の溝が確認された（図81）。この溝は、新田館内の区画溝の可能性もある。入谷遺跡（40-R3-Na567-29427）では、外郭の大溝を確認できた（図80）。しかし、新たな礎石建物などは確認されなかった。推定東山道駅路（武蔵路）（57-R3-Na728-29728）の調査では、道路遺構は確認できなかった。

【参考文献】

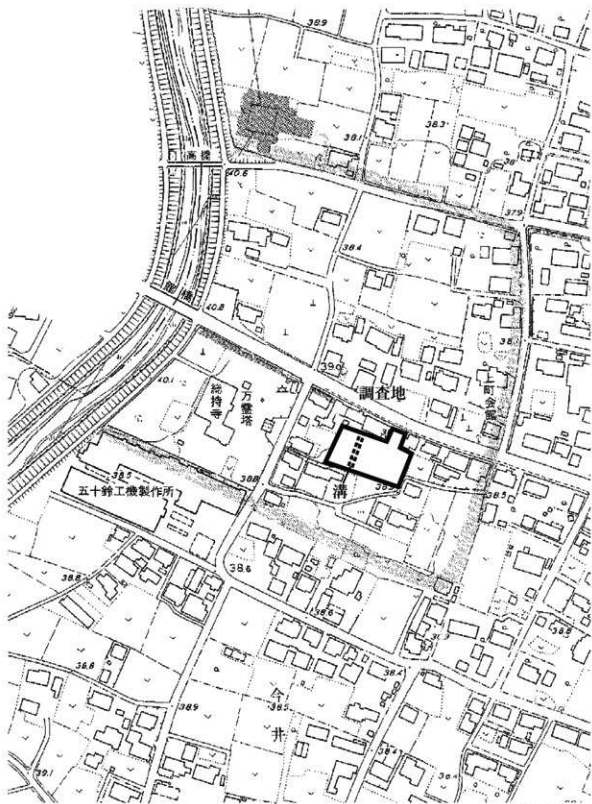
須永光一 1997『新田館跡』群馬県新田郡尾島町教育委員会

小宮俊久 2002『入谷遺跡Ⅳ』群馬県新田町教育委員会



第80図 入谷遺跡





1 : 2,500

第81図 新田館跡



## 確認調査写真



1 R3-№35  
天良七堂遺跡（東から）



2 R3-№58  
堂原遺跡（南から）



3 R3-№91  
大日山古墳群他（南から）



4 R 3-Na59  
富沢古墳群（北から）



5 R 3-Na117  
中原上遺跡（東から）



6 R 3-Na163  
東矢島古墳群（南から）



7 R3-No144  
飯塚古墳群（南から）



8 R3-No234  
新堀遺跡（東から）



9 R3-No208  
八反田遺跡（南から）



10 R 3-No38  
反町城館跡、要害遺跡  
(南から)



11 R 3-No127  
長福寺遺跡 (南から)



12 R 3-No207  
天良七堂遺跡、寺井古墳群  
(東から)



13 R3-No412  
房塚遺跡（南から）



14 R3-No57  
東別所西原遺跡（南から）



15 R3-No318  
島山中遺跡、推定東山道駅路  
牛籠・矢ノ原ルート（南から）



16 R 3-No218  
天神山古墳（西から）



17 R 3-No203  
推定東山道駅路下新田ルート  
（南から）



18 R 3-No421  
三島道跡（西から）





19 R 3 - No126  
浜町遺跡 (西から)



20 R 3 - No252  
FP 泥流下遺跡群 (西から)



21 R 3 - No359  
FP 泥流下遺跡群 (西から)



22 R 3-No531  
東部地区道跡群（東から）



23 R 3-No128  
西田島遺跡（南から）



24 R 3-No539  
高林鶴巻古墳群（西から）



25 R 3 - No405  
三枚橋南古墳群 (東から)



26 R 3 - No339  
西野西遺跡 (西から)



27 R 3 - No251  
目塚遺跡 (北西から)



28 R 3-№75  
一町田・堀之内遺跡  
(北西から)



29 R 3-№622  
石田川遺跡 (南から)



30 R 3-№680  
反町城館跡、要害遺跡 (南から)



31 R3-No283  
家前遺跡（南から）



32 R3-No413  
天神山古墳（西から）



33 R3-No759  
長慶塚古墳（南から）



34 R 3-No48  
FP 泥流下遺跡群 (南から)



35 R 3-No501  
小舞木遺跡 (東から)



36 R 3-No517  
烏ヶ谷戸遺跡 (東から)



37 R 3 - No264  
新田館跡 (東から)



38 R 3 - No458  
女体山古墳東方遺跡 (東から)



39 R 3 - No771  
長福寺遺跡 (東から)



40 R 3-No567  
入谷遺跡 (東から)



41 R 3-No361  
清川遺跡 (西から)



42 R 3-No605  
FP 泥流下遺跡群 (南から)





43 R 3 - No603  
FP 泥流下遺跡群 (東から)



44 R 3 - No626  
宮西遺跡 (北から)



45 R 3 - No601  
新ヶ谷遺跡 (西から)



46 R 3-No827  
東部地区道跡群（北から）



47 R 3-No764  
流作場道跡（南西から）



48 R 3-No1073  
下田島道跡（北西から）



49 R 3 - No.1076  
古米条里制水田跡 (西から)



50 R 3 - No.776  
堀廻遺跡 (西から)



51 R 3 - No.639  
龍舞深町遺跡 (東から)



52 R 3-№1146  
石神遺跡（南西から）



53 R 3-№362  
延享割遺跡（西から）



54 R 3-№717  
下原遺跡（西から）



55 R3-No612  
下原遺跡（北から）



56 R3-No1210  
飯塚古墳群（北から）



57 R3-No728  
推定東山道敷路（武蔵路）  
（南西から）



58 R 3-Na1132  
北宿遺跡（西から）



59 R 3-Na1201  
舞台A・D遺跡（南から）



60 R 3-Na1100  
道瀬谷戸遺跡（南から）

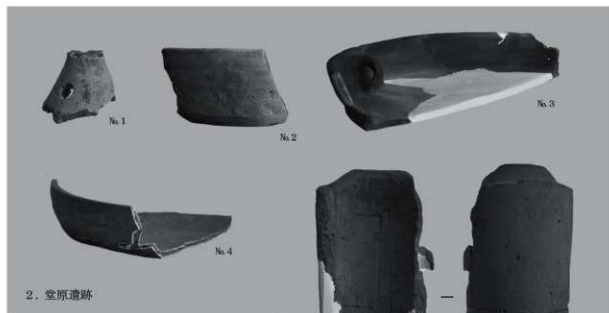


61 R3-No780  
由良天王遺跡（東から）

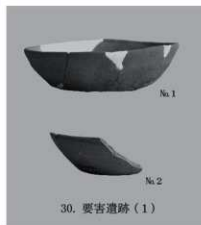
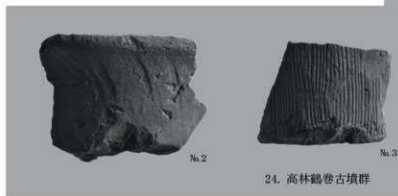
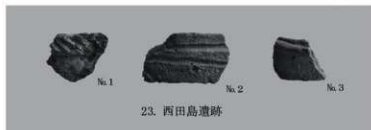


62 R3-No1105  
大通寺後遺跡（西から）

# 出土遺物写真









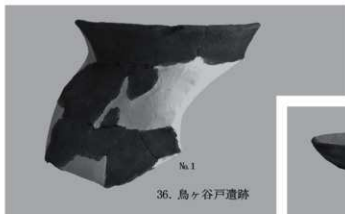
30. 要害遺跡 (2)



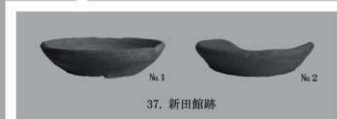
34. F P 泥流下遺跡群



35. 小舞木遺跡



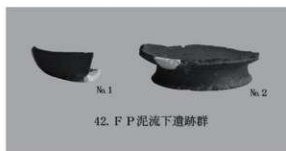
36. 鳥ヶ谷戸遺跡



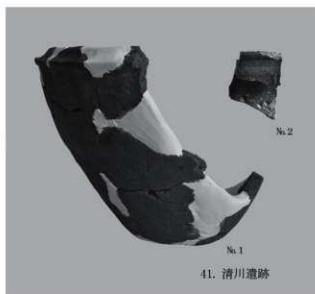
37. 新田館跡



38. 女体山古墳東方遺跡



42. F P 泥流下遺跡群



41. 清川遺跡



44. 宮西遺跡

46. 東部地区遺跡群

## 報告書抄録

フリガナ	オオタシナイイセキ18
書名	太田市内遺跡18
副書名	令和3年度調査
巻次	—
シリーズ名	—
シリーズ巻名	市内遺跡
編集著者名	長谷川幸男
編集機関	太田市教育委員会
編集機関所在地	〒370-0495 群馬県太田市粕川町520 TEL. 0276-20-7090
発行年	令和5年3月17日
所収遺跡	太田市内遺跡62箇所（詳細は調査地一覧表に記載）

### 太田市内遺跡 18

—令和3年度調査—

令和5年3月10日 印刷

令和5年3月17日 発行

編集・発行 群馬県太田市教育委員会

群馬県太田市粕川町520

電話 0276-20-7090

印刷 朝日印刷工業株式会社